

目次

所属名称	施策名	事業番号	大事業名称	事業名	評価区分	ページ番号
生涯学習課	人権尊重と人権意識の高揚	5930	人権教育事業費	人権教育市町村サポート事業費	総合	1-2
生涯学習課	人権尊重と人権意識の高揚	5931	人権教育事業費	人権教育推進費	簡易	3
生涯学習課	人権尊重と人権意識の高揚	6040	子どものエンパワーメント育成事業費	子どものエンパワーメント育成事業費	総合	4-5
生涯学習課	人権尊重と人権意識の高揚	6359	社会教育施設管理費	教育集会所経常管理費	簡易	6
生涯学習課	文化財と伝統行事の継承	6355	社会教育施設管理費	郷土博物館経常管理費	簡易	7
生涯学習課	文化財と伝統行事の継承	6363	社会教育施設管理費	奥津歴史資料館経常管理費	簡易	8
生涯学習課	文化財と伝統行事の継承	6365	社会教育施設管理費	文化資源保存伝習館経常管理費	簡易	9
生涯学習課	文化財と伝統行事の継承	6366	社会教育施設管理費	文化資源保存伝習館臨時管理費	簡易	10
生涯学習課	文化財と伝統行事の継承	6367	社会教育施設管理費	鏡野町郷土館経常管理費	簡易	11
生涯学習課	文化財と伝統行事の継承	6451	文化財保護管理費	文化財保護経常管理費	簡易	12
生涯学習課	文化財と伝統行事の継承	6466	文化財保護事業費	日上山城整備事業費	総合	13-14
生涯学習課	文化財と伝統行事の継承	6467	文化財保護事業費	文化財保護事業費	総合	15-16
生涯学習課	文化財と伝統行事の継承	6469	文化財保護事業費	特別天然記念物緊急調査事業	総合	17-18
生涯学習課	文化財と伝統行事の継承	6493	無形民俗文化財補助金	無形民俗文化財補助金	総合	19-20
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6399	社会教育施設整備事業費	鏡野町多目的公園整備事業費	総合	21-22
生涯学習課	生涯スポーツの推進	06399-0	社会教育施設整備事業費	鏡野町多目的公園整備事業費(繰越分)	簡易	23
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6565	各種団体補助金	鏡野町スポーツ協会補助金	総合	24-25
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6566	各種団体補助金	スポーツ少年団補助金	総合	26-27
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6570	かがみのマラソン大会事業費	かがみのマラソン大会事業費	総合	28-29
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6573	各種スポーツ大会事業費	各種スポーツ大会事業費	総合	30-31
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6602	体育施設管理費	鏡野地区体育施設経常管理費	簡易	32
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6603	体育施設管理費	文化スポーツセンター経常管理費	簡易	33
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6614	体育施設管理費	B & G海洋センター臨時管理費	簡易	34
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6616	体育施設管理費	奥津運動公園臨時管理費	簡易	35
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6618	体育施設管理費	奥津町民体育館臨時管理費	簡易	36
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6620	体育施設管理費	上齋原観光スポーツ施設臨時管理費	簡易	37
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6625	体育施設管理費	富運動公園経常管理費	簡易	38
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6627	体育施設管理費	上齋原地区体育施設経常管理費	簡易	39
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6628	体育施設管理費	奥津地区体育施設経常管理費	簡易	40
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6629	体育施設管理費	塚谷公園経常管理費	簡易	41
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6552	保健体育総務管理費	保健体育総務経常管理費	簡易	42
生涯学習課	生涯スポーツの推進	6631	体育施設管理費	健康づくり公園経常管理費	簡易	43
生涯学習課	生涯学習の推進	5922	社会教育総務管理費	社会教育総務経常管理費	簡易	44
生涯学習課	生涯学習の推進	5924	社会教育総務管理費	大学生等生活応援給付金給付事業	簡易	45
生涯学習課	生涯学習の推進	5925	社会教育総務管理費	高校生等生活応援給付金給付事業	簡易	46
生涯学習課	生涯学習の推進	5926	社会教育総務管理費	上齋原地域高校生教育支援補助金	総合	47-48
生涯学習課	生涯学習の推進	5950	社会教育学級開設費	社会教育学級開設費	総合	49-50
生涯学習課	生涯学習の推進	5975	シニアスクール推進事業費	シニアスクール推進事業費	総合	51-52
生涯学習課	生涯学習の推進	5980	各種団体補助金	苫田郡PTA連合会補助金	総合	53-54
生涯学習課	生涯学習の推進	5984	各種団体補助金	鏡野町文化協会補助金	総合	55-56
生涯学習課	生涯学習の推進	5985	各種団体補助金	鏡野町婦人協議会補助金	総合	57-58
生涯学習課	生涯学習の推進	6020	生涯学習推進事業費	生涯学習推進事業費	総合	59-60
生涯学習課	生涯学習の推進	6030	文芸選奨推進事業費	文芸選奨推進事業費	総合	61-62
生涯学習課	生涯学習の推進	6252	公民館管理費	公民館共通経常管理費	簡易	63
生涯学習課	生涯学習の推進	6254	公民館管理費	中央公民館経常管理費	簡易	64
生涯学習課	生涯学習の推進	6255	公民館管理費	中央公民館臨時管理費	簡易	65
生涯学習課	生涯学習の推進	6256	公民館管理費	芳野公民館経常管理費	簡易	66
生涯学習課	生涯学習の推進	6257	公民館管理費	芳野公民館臨時管理費	簡易	67
生涯学習課	生涯学習の推進	6258	公民館管理費	大野公民館経常管理費	簡易	68
生涯学習課	生涯学習の推進	6260	公民館管理費	小田公民館経常管理費	簡易	69
生涯学習課	生涯学習の推進	6262	公民館管理費	中谷公民館経常管理費	簡易	70
生涯学習課	生涯学習の推進	6264	公民館管理費	香南公民館経常管理費	簡易	71
生涯学習課	生涯学習の推進	6265	公民館管理費	香南公民館臨時管理費	簡易	72
生涯学習課	生涯学習の推進	6266	公民館管理費	香北公民館経常管理費	簡易	73
生涯学習課	生涯学習の推進	6268	公民館管理費	郷公民館経常管理費	簡易	74
生涯学習課	生涯学習の推進	6269	公民館管理費	郷公民館臨時管理費	簡易	75
生涯学習課	生涯学習の推進	6270	公民館管理費	泉公民館経常管理費	簡易	76
生涯学習課	生涯学習の推進	6272	公民館管理費	羽出公民館経常管理費	簡易	77
生涯学習課	生涯学習の推進	6274	公民館管理費	奥津公民館経常管理費	簡易	78
生涯学習課	生涯学習の推進	6276	公民館管理費	上齋原公民館経常管理費	簡易	79
生涯学習課	生涯学習の推進	6278	公民館管理費	富公民館経常管理費	簡易	80
生涯学習課	生涯学習の推進	6279	公民館管理費	富公民館臨時管理費	簡易	81
生涯学習課	生涯学習の推進	06296-0	公民館整備事業費	香北公民館整備事業費(繰越分)	簡易	82
生涯学習課	生涯学習の推進	6296	公民館整備事業費	香北公民館整備事業費	簡易	83
生涯学習課	生涯学習の推進	06297-0	公民館整備事業費	泉公民館整備事業費(繰越分)	簡易	84
生涯学習課	生涯学習の推進	6297	公民館整備事業費	泉公民館整備事業費	簡易	85

所属名称	施策名	事業番号	大事業名称	事業名	評価区分	ページ番号
生涯学習課	生涯学習の推進	6350	社会教育施設管理費	ベスタロッヂ館経常管理費	簡易	86
生涯学習課	生涯学習の推進	6351	社会教育施設管理費	ベスタロッヂ館臨時管理費	簡易	87
生涯学習課	生涯学習の推進	6353	社会教育施設管理費	図書館経常管理費	簡易	88
生涯学習課	生涯学習の推進	6357	社会教育施設管理費	ほたる館経常管理費	簡易	89
生涯学習課	生涯学習の推進	6361	社会教育施設管理費	コミュニティハウス経常管理費	簡易	90
生涯学習課	生涯学習の推進	6369	社会教育施設管理費	上齋原文化センター経常管理費	簡易	91
生涯学習課	生涯学習の推進	6371	社会教育施設管理費	富教育歴史資料館経常管理費	簡易	92
生涯学習課	生涯学習の推進	6375	社会教育施設管理費	生活改善センター経常管理費	簡易	93
生涯学習課	生涯学習の推進	6377	社会教育施設管理費	木工陶芸館経常管理費	簡易	94
生涯学習課	生涯学習の推進	6378	社会教育施設管理費	木工陶芸館臨時管理費	簡易	95
生涯学習課	生涯学習の推進	6392	社会教育施設整備事業費	図書館図書購入費	総合	96-97
生涯学習課	青少年の健全育成	5940	おかやま子ども応援事業費	おかやま子ども応援事業費	総合	98-99
生涯学習課	青少年の健全育成	5945	二十歳を祝う会事業費	二十歳を祝う会事業費	総合	100-101
生涯学習課	青少年の健全育成	5965	かがみのっ子表彰事業費	かがみのっ子表彰事業費	総合	102-103
生涯学習課	青少年の健全育成	5970	子育て学習推進事業費	子育て学習推進事業費	総合	104-105
生涯学習課	青少年の健全育成	5988	各種団体補助金	青年団補助金	簡易	106
生涯学習課	青少年の健全育成	6015	青少年健全育成協議会開催費	青少年健全育成協議会開催費	簡易	107

事業番号	事務事業名	人権教育市町村サポート事業費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
05930	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	17	人権尊重と人権意識の高揚	根拠法令等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	人権教育交流活動事業(教育集会所事業)・社会教育関係団体内権教育研修事業(保・幼・小中学校児童生徒・PTA人権研修)に対し実施希望調査を行い、実施校・実施事業数を確定する。 補助申請、実施報告書を取りまとめ、謝金等の支払、実績報告書の作成など。	保・幼・小・中学校から成人まで人権教育の総合的な推進を図り、人権が尊重された地域社会の実現を目指すため、平成21年度から県補助事業として行っていたが補助がなくなり町独自で行っている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	町民	→	ア	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
					実績	12,625	12,497	12,358		
イ		→	イ		見込					
					実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	人権意識を高め、他人を思いやり、よりよく成長しようとする態度の形成を図る	→	ア	回	目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0		
					達成率	—	—	—		
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	人権教育交流活動事業	→	ア	回	目標	35	35	35	35	35
					実績	37	31	31		
					達成率	105.7%	88.6%	88.6%		88.6%
イ	保・幼・小中学校の人権教育研修	→	イ	回	目標	10	13	11	11	11
					実績	3	3	6		
					達成率	30.0%	23.1%	54.5%		54.5%
ウ		→	ウ		目標					
					実績					
					達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 人権への意識を高め、人権を尊重した行動をしてもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		02	01	人権教育市町村サポート事業費					05930
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	263	313	313	293	293		一般財源	156	170	150	293	293	-20			
合計	263	313	313	293	293		合計(A)	156	170	150	293	293	-20			
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1				
							延べ業務事務時間	17	17	17	17	17				
							人件費計(千円)(B)	57	57	58	57	57	1			
	最終予算額	313 千円		予算執行率	47.9%		トータルコスト(A+B)	213	227	208	350	350	-19			

事業番号	05930	事務事業名	人権教育市町村サポート事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	----------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
「人権の世紀21おかやま」推進事業の一環であり、補助事業であったが、平成21年度から廃止となり現在は町費で行っている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
教育集会所の生涯学習自主講座は、地区ごとに講座開催にばらつきがあり(講師不在など)、公平を保つために補助回数などを考慮している。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
保・幼・小中学校からは毎年多数の実施希望の声があるが、コロナウイルスの感染を防ぐため実施を見送る学校もある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 人権教育啓発活動として政策体系に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 保・幼・小中学校への人権教育啓発活動として必要な事業である。人権問題解消のため教育集会所の交流活動は必要である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	理由説明 町内全保・幼・小中学校で実施されることが望ましい。地区集会活動は、人権問題解消のため必要であるが、自主活動がない地区もあり、いくらかの均質化を図る必要がある。しかし、高齢化等の問題を抱えているのも事実である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 保・幼・小中学校への人権教育として、対象児童生徒に適した講座が行われている。人権問題解消のため教育集会所の交流活動は必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 他に類似の事業がなく、保・幼・小中学校関係ではこの事業の統廃合は人権教育の廃止にもつなげるため継続することが望ましい。教育集会所の事業は規模を縮小しても、自主開催は不可能ではない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 保・幼・小中学校への人権教育として、対象児童生徒に適した講座が行われている。人権問題解消のため教育集会所の交流活動は自主講座を継続して改善の余地がない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 講師謝礼などについて上限を定めており、削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 兼務で事務を行っており、講師選定・日程調整などは保・幼・小中学校で行っているため削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 生涯学習自主活動は、教育集会所のある地区でも公民館主催事業あるいは自主公民館活動で行われており、それに包括統合することも可能と思われるが、同和対策事業の継続事業としての位置づけもあり、すぐにはできない。しかし、今後対象者の高齢化・減少が進めば廃止も検討すべきである。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	保・幼・小中学校での人権教育は必要であり、事業実施は適切である。生涯学習自主活動は、後継者不足により活動ができない地区もある。また、新型コロナウイルスの感染を防ぐため講演会や、自主活動を控えている状況が見られる。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 保・幼・小中学校での人権教育は現状維持。 教育集会所の人権交流活動は、集会所ごとの均質化を図る必要がある。 公民館活動への包括・統合も機会があることに推進を図るべきである。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
同和問題についての明確な施策の展開。各教育集会所の後継者不足問題。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	人権教育推進費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
05931	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	17	人権尊重と人権意識の高揚	根拠法令等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	人権教育推進委員会総会及び理事会はコロナウイルスの関係で未実施となった。 保健福祉課と協力して人権問題講演会を開催する。	昭和56年より、あらゆる偏見や差別を許さず、それらの解消に努める程度を身につけた人間性豊かな町民の育成を図る。人権教育を推進するために組織している。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込		12,500	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民の人権意識の向上	ア 人権問題講演会参加者数	人	目標	0	70	70	70	80
			実績	0	0	80		
			達成率	#DIV/0!	0.0%	114.3%		100.0%
イ			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 総会及び理事会の開催	ア 総会及び理事会開催数	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	0		
			達成率	100.0%	100.0%	0.0%		0.0%
イ 講演会の開催(保健福祉課と共同)	イ 人権問題講演会開催数	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 人権への意識を高め、人権を尊重した行動をしてもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		中事業 02		予算上の事業名				事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		02		人権教育推進費				
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	46	88	88	88	88		一般財源		9	9	88	88			
合計	46	88	88	88	88		合計(A)		9	9	88	88	0		
財源名称							従事正職員人数		1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間		47	40	45	45	45	5	
							人件費計(千円)(B)		157	134	154	151	151	20	
	最終予算額		88 千円		予算執行率		10.2%		トータルコスト(A+B)		157	143	163	239	239

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	コロナウイルスの関係で、人権問題講演会も人数を制限しての開催となった。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	子どものエンパワーメント育成事業費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06040	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	17	人権尊重と人権意識の高揚	根拠法令等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	エンパワーメントとは選択する権利・権限を与えることであり、保・幼・小中学生及び保護者を対象にCAP津山支部と連携して、暴力・虐待・薬物乱用の防止を目的としたトレーニングや講演会を実施する。各学校などに実施希望調査。実施校、実施教室の確定。日程調査、講師選定及び委託手続き。実施報告書の取りまとめ。講師謝金・委託金の支払い。 令和2年度は講演の計画を行っていたが、次年度へ繰り越すこととなった。	子どもが犯罪に巻き込まれる事件・事故の増加の背景から、県補助事業として開始された県補助事業終了後の平成21年度以降も町単独事業として継続実施している。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 保育園・幼稚園	ア 園児数	人	見込	450	450	446	450	450
			実績	458	441	446		
イ 小・中学生	イ 生徒・児童数	人	見込	655	655	967	967	967
			実績	659	658	967		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 園児と保護者によりよく成長する態度を形成してもらう	ア 園児・保護者の参加人数	人	目標	0	100	100	0	0
			実績	0	0	0		
			達成率	—	0.0%	0.0%		
イ 児童・生徒・保護者によりよい成長する態度を形成してもらう	イ 児童・生徒・保護者の参加人数	人	目標	0	75	75	150	150
			実績	0	0	226		
			達成率	—	0.0%	301.3%		150.7%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア CAPプログラム	ア CAPプログラム実施回数	回	目標	0	4	4	0	0
			実績	0	0	0		
			達成率	—	0.0%	0.0%		
イ 薬物乱用防止・たばこの話講演会	イ 講演会実施回数	回	目標	2	2	2	2	2
			実績	0	2	6		
			達成率	0.0%	100.0%	300.0%		300.0%
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 人権への意識を高め、人権を尊重した行動をしてもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		子どものエンパワーメント育成事業費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	06040		
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	100	40	150	60	60	110	一般財源	40	60	60	60	20			
合計	100	40	150	60	60	110	合計(A)	40	60	60	60	20			
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						5	5	10	10	10	5			
	人件費計(千円)(B)						17	17	34	34	34	17			
	最終予算額	150 千円	予算執行率	40.0%	トータルコスト(A+B)		17	57	94	94	94	37			

事業番号	06040	事務事業名	子どものエンパワーメント育成事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-------------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
子どもが犯罪に巻き込まれる事件・事故も増加しており、本町においても不審者情報も寄せられている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
県からの補助終了後も町費予算で実施しており、幼・保・小については「暴力防止教育」を、中学生については「禁煙・薬物防止教育」を実施している。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
中学校からは主に生徒からの感想を得ているが、心に残る講演であった旨の報告がなされている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 幼・保・小中学校への人権教育啓蒙活動として必要な事業である。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 幼・保・小中学校への人権教育啓蒙活動として行政主導で行うことが望ましい。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 町内 全幼保小中学校で実施することが望ましい。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 事業の重要性について共通認識が形成されていないので事業説明が必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 他に類似事業はない。廃止すれば幼・保・小中学生及び保護者を対象とした暴力・虐待・薬物乱用防止教育が減少する。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 事業の重要性について説明を行い、事業実施を促す。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 講師謝金の上限を最低限に設定しており、削減余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方を見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 兼務で事業を行っているため、削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 町内全 幼・保・小中学校での実施であるため、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	令和4年度は中学校で禁煙教室を実施した。CAPつやまの講座について実施はなかった。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 CAPつやまの講座は3つのプログラム(保護者、生徒、教職員)を行う必要があるため、事業活用が難しくなるので廃止する。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	○																							
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
幼・保・小中学校に理解を求め、CAPつやま以外の事業を活用してもらう。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	教育集会所経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06359	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	係名	担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	17	人権尊重と人権意識の高揚	根拠法令等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町内4カ所の教育集会所(吉原・小座・河本・薪森原)の管理(光熱水費等支払)及び補助金交付、修繕の対応。 年1回運営委員会を開催し、運営等について協議。 運営委員会からの補助金申請・補助状況の把握・請求書の提出・補助金支出事務。	昭和44年同和对策基本法及び関連法に基づき、同和地区の差別解消を図るための学習・交流施設として設置。そのあと法令は廃止となったが、町独自で地域の実情に応じた同和对策事業を継続している。 ・吉原教育集会所(建築年度昭和42年度)・小座教育集会所(建築年度昭和61年度)・河本教育集会所(建築年度昭和62年度)・薪森原教育集会所(建築年度昭和60年度)

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 各教育集会所利用対象者	ア 利用人数	人	見込 実績	110 97	110 102	110 124	110	110
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地域交流の充実	ア 利用人数	人	目標 実績 達成率	110 97 88.2%	110 102 92.7%	110 124 112.7%	110	110 112.7%
イ	イ 利用回数	回	目標 実績 達成率	50 29 58.0%	50 31 62.0%	50 32 64.0%	50	50 64.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 施設の維持管理・集会・交流活動	ア 交流会活動参加延数	人	目標 実績 達成率	500 501 100.2%	500 507 101.4%	500 2,272 454.4%	500	500 454.4%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 人権への意識を高め、人権を尊重した行動をしてもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		教育集会所経常管理費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町 債						町 債									
その他特財						その他特財									
一般財源	1,017	1,035	1,085	1,117	1,117	50	一般財源	899	923	1,046	1,117	1,117	123		
合計	1,017	1,035	1,085	1,117	1,117	50	合計(A)	899	923	1,046	1,117	1,117	123		
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1			
							延べ業務事務時間	16	16	16	16	16			
							人件費計(千円)(B)	53	54	55	54	54	1		
	最終予算額	1,085 千円		予算執行率	96.4%		トータルコスト(A+B)	952	977	1,101	1,171	1,171	124		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	地域の人権教育・地域活動の拠点として今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	郷土博物館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06355	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日下 隆春
	施策名	35 文化財と伝統行事の継承	根拠法令等	鏡野町総合文化施設条例、鏡野町総合文化施設条例施行規		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町内の文化財、歴史資料の収集・保管・展示を目的として設置された郷土博物館の運営及び維持管理を行う業務。故障・破損箇所の修繕、企画展の実施、体験講座の実施、見学者への説明、資料の収集・整理、調査研究。	平成15年、ベスタロッジ館建設に伴い、館内に鏡野郷土博物館が開館したことによる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	施設の利用者	→	ア	来館者	人	見込 実績	400 350	400 400	500 400	500 500
イ	保管・展示している資料	→	イ	資料数	点	見込 実績				
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	地域の歴史や文化財に対する理解	→	ア	来館者の増加率	%	目標 実績 達成率	100 78 78.0%	100 114 114.0%	100 100 100.0%	100 100.0%
イ	資料を現状のまま保管し、後世に伝える	→	イ	体験講座の参加者の増加率	%	目標 実績 達成率	100 63 63.0%	100 173 173.0%	100 122 122.0%	100 122.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	企画展	→	ア	講座の開催数	回	目標 実績 達成率	10 9 90.0%	10 3 30.0%	10 8 80.0%	10 80.0%
イ	講座	→	イ	講座の参加者数	人	目標 実績 達成率	150 173 115.3%	150 30 20.0%	150 153 102.0%	150 102.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の文化財・伝統文化	ア	適切に保存、管理し、後世に継承する
イ	町民	イ	伝統文化に親しんでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		郷土博物館経常管理費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町 債						町 債									
その他特財	14	14	10	14	14	-4	その他特財	21	19	24	14	14	5		
一般財源	352	138	3,040	138	138	2,902	一般財源	241	65	2,997	138	138	2,932		
合計	366	152	3,050	152	152	2,898	合計(A)	262	84	3,021	152	152	2,937		
財源名称	郷土博物館講座受講料					従事正職員人数	1	1	2	2	2	1			
						延べ業務事務時間	300	250	280	300	300	30			
						人件費計(千円)(B)	1,003	838	958	1,009	1,009	120			
	最終予算額	3,050 千円		予算執行率	99.0%		トータルコスト(A+B)	1,265	922	3,979	1,161	1,161	3,057		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	講座の参加者数もコロナ禍前の数値に戻りつつある。所蔵資料の整理を行いつつ、展示内容の充実を図り、来館者増へもつなげていきたい。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津歴史資料館経常管理費			所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06363	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり			係名	担当者・シート作成者	阪手 彩香
	施策名	35	文化財と伝統行事の継承			根拠法令等	鏡野町奥津歴史資料館条例・鏡野町奥津歴史資料館管理運	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	①指定管理料の支払い ②企画展の立案・準備・展示替え ③関係機関等への広報 ④施設の修繕等の対応 ⑤指定管理団体による管理体制のチェック及び調整 ⑥令和4年度は、照明及び女子トイレの修繕を実施	苦田ダム振興計画内に「歴史資料館の整備」の項目があり、奥津温泉街北端に位置する中国電力事務所跡地を買収し、内部改装を行い、展示施設とした。町内の歴史を学ぶ学習施設としてではなく、観光施設としての役割も担っている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 施設	→	ア 施設の利用者数	人	見込 実績	1,300 1,097	1,300 891	1,500 1,187	1,300	1,300
イ 施設の利用者	→	イ 団体説明の回数	回	見込 実績	2 0	2 1	2 1	2	2
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 施設の保全	→	ア 施設の修繕箇所・不具合の対応率	%	目標 実績 達成率	100 100 100.0%	100 100 100.0%	100 100 100.0%	100	100.0%
イ 町内の歴史・文化に対する理解	→	イ 来館者の増加	人	目標 実績 達成率	93 (110) -118.3%	93 (206) -221.5%	200 296 148.0%	200	148.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 常設展示の展示替え	→	ア 常設展示の展示替え	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 0 0.0%	1	0.0%
イ 企画展の展示替え	→	イ 企画展の展示替え	回	目標 実績 達成率	1 0 0.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の文化財・伝統文化	ア 適切に保存、管理し、後世に継承する
イ 町民	イ 伝統文化に親しんでもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		奥津歴史資料館経常管理費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	3,003	3,914	3,162	3,153	3,153	-752	一般財源	2,982	3,865	3,088	3,153	3,153	-777		
合計	3,003	3,914	3,162	3,153	3,153	-752	合計(A)	2,982	3,865	3,088	3,153	3,153	-777		
財源名称	従事正職員人数						2	2	3	3	3	1			
	延べ業務事務時間						80	150	150	150	150				
	人件費計(千円)(B)						267	503	513	504	504	11			
	最終予算額	3,162 千円		予算執行率	97.6%		トータルコスト(A+B)	3,249	4,368	3,601	3,657	3,657	-766		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	新型コロナウイルス感染症の流行により減少していた来館者数が回復した。今後も町内の歴史や文化を知ってもらうため、常設展示の展示替えや企画展を行う必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	文化資源保存伝習館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06365	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日下 隆春
	施策名	35 文化財と伝統行事の継承	根拠法令等	鏡野町文化資源保存伝習館条例	鏡野町文化資源保存伝習館	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	施設の老朽化による廃止が検討されているため、令和3年度より委託契約を解除し、休館している。本年度は、光熱水費等必要経費の支払いと、備品の所管替えに関する業務を行う。	廃校となった羽出小学校の校舎を利用して平成6年に開館、2階を民俗資料の保管・展示施設として、1階を木工加工施設として、当初より第3セクターである未来奥津に管理業務を委託、平成23年度からは作州かがみの森林組合に委託。令和3年度より委託契約を解除し、休館。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	施設の一般利用者	→	ア	名	見込	250	0	0	0	0
					実績	207	0	0		
イ	施設を管理する委託先	→	イ	団体	見込	1	0	0	0	0
					実績	1	0			
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	施設の保全	→	ア	%	目標	100	0	0	0	0
					実績	100	0	0		
					達成率	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!		#DIV/0!
イ	町の伝統産業の振興	→	イ	人	目標	38	0	0	0	0
					実績	(5)	0	0		
					達成率	-13.2%	#DIV/0!	#DIV/0!		#DIV/0!
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	施設の点検	→	ア	箇所	目標	1	0	0	0	0
					実績	1	0	0		
					達成率	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!		#DIV/0!
イ	委託契約の締結と委託料の支払い	→	イ	件	目標	1	0	0	0	0
					実績	1	0	0		
					達成率	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!		#DIV/0!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の文化財・伝統文化	ア	適切に保存、管理し、後世に継承する
イ	町民	イ	伝統文化に親しんでもらう
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		文化資源保存伝習館経常管理費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	06365		
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	見込			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	120	12			-12	その他特財	44								
一般財源	2,255	594	24	267	-570	一般財源	2,081	343	121	267			-222		
合計	2,375	606	24	267	-582	合計(A)	2,125	343	121	267			-222		
財源名称	文化資源保存伝習館使用料				従事正職員人数		2	1	1	1					
					延べ業務事務時間		120	80	20	20			-60		
					人件費計(千円)(B)		401	268	68	67			-200		
	最終予算額		24 千円		予算執行率		504.1%		トータルコスト(A+B)		2,526	611	189	334	-422

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	最小限の光熱水費のみの支出である。今後は廃止、建物撤去に向けて進んでいる。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	文化資源保存伝習館臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06366	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日下 隆春
	施策名	35 文化財と伝統行事の継承	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (4 年度~ 6 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	文化資源保存伝習館の解体工事設計及び保管資料等の保管倉庫の新築に伴う設計	文化資源保存伝習館は、旧羽出小学校校舎を改築した建物で、老朽化のため取り壊しが決定したが、2階にある資料を保管するための倉庫の建設が必要であったため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 文化資源保存伝習館	ア 文化資源保存伝習館の数	棟	見込 実績			1 1	0	0
イ 所蔵資料	イ 所蔵資料数	点	見込 実績			2,200 2,200	500	500
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 建物を解体撤去する	ア 撤去する建物の数	棟	目標 実績 達成率			1 1 100.0%	0	0
イ 保管倉庫を新築する	イ 新築する倉庫の数	棟	目標 実績 達成率			1 1 100.0%	0	0
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 解体工事の設計を行う	ア 解体工事の設計数	回	目標 実績 達成率			1 1 100.0%	0	0
イ 新築に伴う設計を行う	イ 新築工事の設計数	回	目標 実績 達成率			1 1 100.0%	0	0

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の文化財・伝統文化	ア 適切に保存、管理し、後世に継承する
イ 町民	イ 伝統文化に親しんでもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		文化資源保存伝習館臨時管理費						
	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	06366	
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込			
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源			5,517			5,517	一般財源			4,831			4,831		
合計			5,517			5,517	合計(A)			4,831			4,831		
財源名称	従事正職員人数										1		1		
	延べ業務事務時間										200		200		
	人件費計(千円)(B)										684		684		
	最終予算額	5,517 千円		予算執行率	87.5%		トータルコスト(A+B)				5,515		5,515		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	老朽化した建物の撤去は必要な措置である。また、建物内に保管されている資料を保管するための建物の建設も必要で、4年度はそのための設計費のみのため改善余地はない。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	鏡野町郷土館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06367	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	阪手 彩香
	施策名	35 文化財と伝統行事の継承	根拠法令等	鏡野町歴史資料館条例・鏡野町郷土館運営委員会規約		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	円通寺境内にある鏡野町郷土館の管理運営。 ①館長と委託契約を締結し、委託料を支払う ②委員会を開き、年度の行事を決める ③修繕の必要な部分については、予算措置をし修繕する ④実績報告書の確認	昭和48年、県のコミュニティ地域に指定されたことを機に、昭和49年11月8日、鏡野町郷土館が開館したため。 施設の場所が円通寺境内にあるため、円通寺住職を館長に委任し、委託料を支払う。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 展示・保管施設	ア 資料の保管数	点	見込 実績	52 52	52 52	52 52	52	52
イ 収蔵している資料(町所蔵品は52点)	イ 委託団体	団体	見込 実績	1 1	1 1	1 1	1	0

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 施設の保全	ア 施設の修繕及び不具合の対応率	%	目標 実績 達成率	100 100 100.0%	100 100 100.0%	100 100 100.0%	100	100.0%
イ 文化財の保管	イ 利用者数の増加率	%	目標 実績 達成率	120 30 25.0%	120 100 83.3%	120 120 100.0%	120	100.0%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 会議の開催	ア 会議の開催回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	100.0%
イ 企画展開催	イ 企画展の開催回数	回	目標 実績 達成率	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	0	#DIV/0!



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の文化財・伝統文化	ア 適切に保存、管理し、後世に継承する
イ 町民	イ 伝統文化に親しんでもらう
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 06 社会教育費		目 03 社会教育施設費		予算上の事業名 鏡野町郷土館経常管理費						事業番号 06367
	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	120	59	65	80	80	6	一般財源	50	56	50	80	80	-6		
合計	120	59	65	80	80	6	合計(A)	50	56	50	80	80	-6		
財源名称							従事正職員人数	1	1	2	2	2	1		
							延べ業務事務時間	20	20	20	20	20			
							人件費計(千円)(B)	67	67	68	67	67	1		
	最終予算額		65 千円		予算執行率		76.9%	トータルコスト(A+B)	117	123	118	147	147	-5	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	来館者数の増加のため、周知や広報を徹底する必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	文化財保護経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06451	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	阪手 彩香
	施策名	35 文化財と伝統行事の継承	根拠法令等	文化財保護法・鏡野町文化財保護条例・鏡野町文化財保護		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・町指定文化財を適正に管理・保護し、町民に公開する。 ・文化財保護審議会の決定事項に基づいて、指定文化財案内看板・標柱の更新、災害等に係る被害状況の確認、草刈り、文化財補助金の交付、その他保護を行う。	昭和40年代頃より市町村で文化財保護委員会が発足し、地域の文化財を自治体で指定し、保護することが行われるようになった。町村合併により、それぞれの町村で行っていた保護業務の方法を統一し、現在に至る。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町内の文化財	ア 指定文化財数	件	見込 実績	165 165	165 165	165 164	164	164
イ 文化財の所有者	イ 指定文化財の所有者数	人	見込 実績	165 165	165 165	164 164	164	164
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 郷土の文化財に関心を持つ者の数を増やす	ア 文化財出前講座開催回数	回	目標 実績 達成率	7 9 128.6%	7 3 42.9%	5 4 80.0%	5	5 80.0%
イ	イ 文化財出前講座参加者数	人	目標 実績 達成率	140 173 123.6%	140 30 21.4%	100 75 75.0%	100	100 75.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 文化財の調査研究、現地案内	ア 現地案内した回数	回	目標 実績 達成率	5 4 80.0%	5 3 60.0%	5 2 40.0%	5	5 40.0%
イ 指定文化財標柱の設置等維持管理業務	イ 草刈りの場所	箇所	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 3 150.0%	3 3 100.0%	3	3 100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の文化財・伝統文化	ア 適切に保存、管理し、後世に継承する
イ 町民	イ 伝統文化に親しんでもらう
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 04		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		文化財保護費		文化財保護経常管理費						
01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02	01	02
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	20	20	20	20	20	その他特財	52	35	26	20	20	-9			
一般財源	1,605	1,677	2,228	1,721	1,721	551	一般財源	1,305	1,345	2,056	1,721	1,721	711		
合計	1,625	1,697	2,248	1,741	1,741	551	合計(A)	1,357	1,380	2,082	1,741	1,741	702		
財源名称	文化財報告書等販売収入					従事正職員人数	2	2	2	2	2				
						延べ業務事務時間	500	500	500	500	500				
						人件費計(千円)(B)	1,672	1,675	1,711	1,681	1,681	36			
	最終予算額		2,248 千円	予算執行率	92.6%		トータルコスト(A+B)	3,029	3,055	3,793	3,422	3,422	738		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	文化財への理解・関心を深めるため、今後も講座や現地案内等を行っていく。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	日上山城整備事業費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06466	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日下 隆春
	施策名	35 文化財と伝統行事の継承	根拠法令等	日上山城史跡保存整備委員会設置運営規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	小瀬甫庵の碑(町有地)の草刈り委託(ミニシルバー)	小瀬富美子氏より町に贈られた寄付金を基に、平成2年に基金が設立された。令和2年度までは日上山城史跡保存整備委員会を設立し、史跡を借地して整備事業を進めていたが、借地契約期間が終わり、基金も少なくなったため委員会は解散。令和3年度からは残った基金で町有地の草刈りのみ実施

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 日上山城	ア 保護する史跡	箇所	見込 実績	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1
イ 日上山城を守る会会員	イ 日上山城を守る会会員数	人	見込 実績			0 0	0 0	0 0
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地域住民に文化財の重要性を理解してもらう	ア 草刈の回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%
イ 日上山城史跡の保護	イ 見学会の開催数	回	目標 実績 達成率	0 0 —	0 0 —	0 0 —	0 0 —	0 0 —
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 委員会の開催	ア 委員会開催回数	回	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	0 0 —	0 0 —	0 0 —	0 0 —
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の文化財・伝統文化	ア 適切に保存、管理し、後世に継承する
イ 町民	イ 伝統文化に親しんでもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 04		03	02	予算上の事業名					06466
	一般会計		教育費		社会教育費		文化財保護費				日上山城整備事業費					
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財	1,578	50	50				その他特財	847	3	3						
一般財源	55						一般財源	17	2				-2			
合計	1,633	50	50				合計(A)	864	5	3			-2			
財源名称	日上山城史跡保存整備基金利子					従事正職員人数	3	1	1	1	1					
	日上山城史跡保存整備基金繰入金					延べ業務事務時間	20	5	5	5	5					
						人件費計(千円)(B)	67	17	17	17	17	0				
	最終予算額		50 千円	予算執行率	6.0%	トータルコスト(A+B)	931	22	20	17	17		-2			

1枚目

事業番号	06466	事務事業名	日上山城整備事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	日上山を守る会は高齢化等により活動が困難で、29年度より事務局が事業を行っている。借地契約は令和元年度で終了、史跡保存整備委員会も2年度で解散した。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯	借地契約期間が終了したことで、史跡保存整備委員会を解散した。令和3年度以降は、残った基金で町有地の草刈りのみを行うこととしたが、令和4年度に基金条例廃止した。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?	借地契約終了後も、町で史跡の整備を続けてほしいという地元からの要望がある

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 町指定文化財である日上山城の保存整備を目的としているので、結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 本事業は、日上山城の整備を目的とした基金により実施している事業であり、基金条例は廃止したが町有地のため草刈り作業は継続する。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 日上山城主の子孫である小瀬富美子氏から寄贈を受けた基金によって行われている事業であるため、本目的以外を対象とすることが難しい。令和4年度で基金条例廃止した。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 日上山城の整備や日上山を守る会が高齢化等により、活動が困難であるため、成果の向上は期待できない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 令和4年度で基金条例も廃止したが町有地であり現在の活動(草刈り)は継続する必要がある。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 委員会の解散以降は、シルバーへ町有地の草刈委託を行うための事務のみのため、改善余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 借地契約が終了したため、借地料の支払いはなくなる。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 史跡保存整備委員会が解散したため、業務時間は削減できている。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 基金の目的が日上山城の整備であり、現在は町有地のみでの整備であるため適正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	委員会の解散以降、業務量は少ない。ただ、町有地である以上、草刈り等の活動は行っていく必要がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 借地契約が終了し、委員会も解散したため、現在は町有地の草刈りのみである。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									

事業番号	事務事業名	文化財保護事業費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06467	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日下 隆春
	施策名	35 文化財と伝統行事の継承	根拠法令等	文化財保護法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	本事業は緊急的な埋蔵文化財調査に即応するために予算計上している。令和4年度の実績はなし。	町内に開発計画があった場合、緊急的な発掘調査や試掘調査に対応するために予算を計上している。近年は、埋蔵文化財調査以外の緊急的な文化財保護事業にも対応している。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町内の遺跡	ア 町内の遺跡数	箇所	見込	987	987	987	987	987
			実績	987	987	987		
イ 町の開発事業	イ 町内の開発件数	件	見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 適切な保護措置をとる	ア 開発協議の対応率	%	目標	100	100	100	100	100
			実績	100	100	100		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	イ 保護措置後の開発実施率	%	目標	100	100	100	100	100
			実績	100	100	100		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 調査を実施する	ア 発掘調査件数	箇所	目標	0	1	0	0	0
			実績	0	1	0		
			達成率	—	100.0%	—		—
イ	イ 試掘・確認調査件数	箇所	目標	1	1	0	0	0
			実績	1	1	0		
			達成率	100.0%	100.0%	—		—
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の文化財・伝統文化	ア 適切に保存、管理し、後世に継承する
イ 町民	イ 伝統文化に親しんでもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 04		大 03	中 03	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		文化財保護費				文化財保護事業費					
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	670	957	670	670	670	-287	一般財源		957		500	500	-957			
合計	670	957	670	670	670	-287	合計(A)		957		500	500	-957			
財源名称							従事正職員人数	2	2	1	1	1	-1			
							延べ業務事務時間		50	50	100	100				
							人件費計(千円)(B)		168	171	336	336	4			
	最終予算額	670 千円		予算執行率	0.0%		トータルコスト(A+B)		1,125	171	836	836	-953			

1枚目

事業番号	06467	事務事業名	文化財保護事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
埋蔵文化財包蔵地における開発も増えてきている。また、埋蔵文化財以外でも緊急的な文化財保護業務が増えつつある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
緊急的な事業に即応し、開発事業を滞らせないため本予算を計上している。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
特にないが、埋蔵文化財包蔵地において開発予定があった場合や、工事中に埋蔵文化財が発見された場合、早急な対応を迫られると思う。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	開発に伴う文化財調査は、個人の営利目的によるもの以外は行政が行うことが望ましい。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	開発行為により文化財が発見された場合、緊急的な対応ができれば破壊される可能性もある。文化財保護の観点からも、法により自治体に対応しなければならない調査については、早急に対応できる体制を整えておくべき。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	開発の目的、面積等によっては設計変更等見直しを図る必要がある。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	調査を業者委託することで成果を向上させることができるが、現在よりも多額の予算が必要となる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	試掘・確認調査は、文化財保護法において行政が行うことになっており、廃止・休止すれば緊急的な開発や、突発的な文化財保護業務に対応できない。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	調査を業者委託することで成果を向上させ、かつ事務事業量を削減することができるが、現在よりも多額の予算が必要となる。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	工事計画の変更等で、開発範囲を埋蔵文化財包蔵地から外すことで事業量を削減することができる。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	発掘調査の一部を業務委託することで事業時間を削減することができる。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	文化財保護のための調査にかかる費用であるため、一部の受益者に偏ることはない。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	本事業は、常に業務があるわけではないが緊急的・突発的な事業に対応するため、事業費の計上は必要である。調査を業者委託にする割合を増やせば、事務事業量を減らすことができるが、その分コストが増加する。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 大規模な開発に伴う発掘調査の場合は、調査の一部を委託するなどの措置は検討する必要がある。また、発掘調査が始まった場合、担当者の業務量が非常に大きくなる。その際の支援ができる体制作りを行う必要がある。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
文化財調査の必要性(法律によって実施しなければならないということ)及び調査に伴う業務量(職員の負担)、内容を理解していただくこと。																									

事業番号	事務事業名	特別天然記念物緊急調査事業	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06469	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	文化財	担当者・シート作成者	日下 隆春
	施策名	35 文化財と伝統行事の継承	根拠法令等	文化財保護法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	オオサンショウウオ飼育施設の整備、捕獲調査及び一時飼育・隔離飼育(委託業務)、保護対策委員会の開催等	平成29年度に岡山県教育委員会の調査により、奥津地域の吉井川にチュウゴクオオサンショウウオ及びその交雑種が生息している事が明らかになったため、外来種・交雑種の隔離を目的として、30年度より国・県の補助により、町で実施することとなった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア オオサンショウウオ	ア 吉井川上流に生息するオオサンショウウオ	頭	見込	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績			300		
イ チュウゴクオオサンショウウオ及びその交雑種	イ 外来種・交雑種の数(捕獲数)	頭	見込	10	10	10	10	10
			実績	8	12	8		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 交雑種を捕獲して隔離し、在来種の生態を守る	ア 捕獲した数	頭	目標	50	50	50	50	50
			実績	52	91	68		
			達成率	104.0%	182.0%	136.0%		136.0%
イ	イ 隔離飼育した交雑種の数	頭	目標	15	8	8	8	8
			実績	8	12	8		
			達成率	53.3%	150.0%	100.0%		100.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 捕獲調査及び飼育の委託	ア 捕獲調査及び飼育の委託団体数	団体	目標	2	2	2	2	1
			実績	2	2	2		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		200.0%
イ 飼育施設の整備	イ 整備した飼育施設の数	箇所	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
ウ 保護対策委員会の開催	ウ 会議の開催数	回	目標	2	1	1	1	1
			実績	0	0	2		
			達成率	0.0%	0.0%	200.0%		200.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の文化財・伝統文化	ア 適切に保存、管理し、後世に継承する
イ 町民	イ 伝統文化に親しんでもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 04		大事業 03		中事業 05		予算上の事業名		事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		文化財保護費				特別天然記念物緊急調査事業				06469
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金	3,702	3,930	3,689	2,133	2,500	-241	国庫支出金	3,515	3,699	3,196	2,133	2,500	-503		
県支出金	1,234	500	500	500	500		県支出金	1,171	500	500	500	500			
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	2,468	3,321	3,190	1,633	2,000	-131	一般財源	2,344	3,271	2,696	1,633	2,000	-575		
合計	7,404	7,751	7,379	4,266	5,000	-372	合計(A)	7,030	7,470	6,392	4,266	5,000	-1,078		
財源名称	社会教育費国庫補助金 国宝重要文化財等保存整備費補助金					従事正職員人数		3	3	3	2	2			
	社会教育費県補助金 文化財保護等補助金					延べ業務事務時間		320	320	350	350	350	30		
						人件費計(千円)(B)		1,070	1,072	1,197	1,177	1,177	125		
	最終予算額		7,379 千円	予算執行率	86.6%		トータルコスト(A+B)		8,100	8,542	7,589	5,443	6,177	-953	

事業番号	06469	事務事業名	特別天然記念物緊急調査事業	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	---------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
交雑種が確認された自治体が増加しつつあり、今後どのように対処していくかが議論され始めた
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
交雑種が確認された自治体・文化庁・環境省及び研究団体により、交雑問題検討会が開催され、調査の方法や特定外相生物指定の可能性などが議論された。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
DNA解析方法等について、解析方法を変える必要がある。また、今後も事業を継続する必要があるとの意見がある(文化庁)。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 特別天然記念物を保護し、後世に伝えるための事業であるため、結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 オオサンショウウオは国の特別天然記念物であるため、許可なく触ったり移動させることもできない。また、個人所有のものでもないため、行政が行うべき事業である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 チュウゴクオオサンショウウオ及びその交雑種の排除が目的で、それ以外の目的はないため妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 施設の規模、調査回数等を考慮しても、当分は現在のやり方で進めていくことが妥当。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 交雑種を排除しないまま本事業を廃止すれば、吉井川上流部において交雑種がさらに増えていくことになり、これまでの成果も無駄になってしまう。また、在来種の生態に大きな影響を与えることになるため、外来種・交雑種が確認できなくなるまでもしくは文化庁が何らかの方針を定めるまでは廃止・休止はするべきではない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 隔離飼育する交雑種の譲渡先が増えれば、飼育に係る負担は軽減できる	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 コンサル委託している捕獲調査を地元団体に委託することで多少の経費削減は見込める。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 調査・飼育等は業者委託にしており、事務作業や協議、計画などが主であるため、削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 国特別天然記念物を扱う事業であるため、受益者が偏ることはない。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	本事業は5年間実施して、一定の成果は挙げられたが今後も継続して行わなければならないが、現段階では今後の終わりが見えない。ただ、廃止すればこれまでの実績も無駄になり、在来種の減少にもつながるため、細く長くでも続けていくことが必要。事業費の削減としては、コンサル委託分を地元団体に委託したり、調査回数を減らすなどを検討していく。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 交雑種が存在する他自治体と連携し、調査方法の簡素化や交雑問題の着地点の設定等を文化庁・環境省と協議し、本事業の終了をどのような形にもっていくかを定めていく必要がある。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
文化庁が事業の目標設定を行わない限り、終わりのない事業となってしまう。文化庁が自治体の実情を把握してもらうことが必要。																									

事業番号	事務事業名	無形民俗文化財補助金	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06493	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	阪手 彩香
	施策名	35 文化財と伝統行事の継承	根拠法令等	鏡野町無形文化財保存継承事業費補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町内の指定無形民俗文化財(布施神社お田植祭・新町の地蔵踊り・羽出神社のお田植祭)の活動に補助金を交付する。 補助金申請書の受理・交付決定、実績報告書の受理、交付決定、補助金の交付。 令和3年度は新町地蔵踊り保存会に対し補助を行った。	少子高齢化や過疎化による人口減少や近年のコロナ禍により開催が困難となっている町内の指定無形文化財の保存活動を支援し、後世に残していくため、活動費の一部を補助する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町内の指定無形民俗文化財	ア 町内の無形民俗文化財の数	件	見込 実績	3 3	3 3	3 3	3	3
イ	イ 指定無形民俗文化財保存団体数	団体	見込 実績	3 3	3 3	3 3	3	3
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 無形民俗文化財が後世に伝えられるような活動を行う	ア 布施神社のお田植祭及び羽出神社のお田植祭参加者数	人	目標 実績 達成率	600 45 7.5%	600 45 7.5%	600 45 7.5%	600	#DIV/0!
イ	イ 地蔵踊り参加者数	人	目標 実績 達成率	350 15 4.3%	350 22 6.3%	350 80 22.9%	350	#DIV/0!
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 補助金の交付	ア 補助金の申請数	回	目標 実績 達成率	3 0 0.0%	3 1 33.3%	3 2 66.7%	3	66.7%
イ	イ 補助金交付決定の数	回	目標 実績 達成率	3 0 0.0%	3 1 33.3%	3 2 66.7%	3	66.7%
ウ	ウ	回	目標 実績 達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の文化財・伝統文化	ア 適切に保存、管理し、後世に継承する
イ 町民	イ 伝統文化に親しんでもらう
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 06 社会教育費		目 04 文化財保護費		07 01 無形民俗文化財補助金		予算上の事業名				事業番号
	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	06493	
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源		120	120	120	120		一般財源		30	90	120	120	60		
合計		120	120	120	120		合計(A)		30	90	120	120	60		
財源名称							従事正職員人数		1	2	2	2	1		
							延べ業務事務時間		6	10	10	10	4		
							人件費計(千円)(B)		20	34	34	34	14		
	最終予算額	120 千円	予算執行率	75.0%	トータルコスト(A+B)				50	124	154	154	74		

1枚目

事業番号	06493	事務事業名	無形民俗文化財補助金	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため最小人員で遂行されたが、徐々に例年通りの開催に戻りつつある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
補助金の支払いに関する事務のみであるため、改善するほどの事務量は無い。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
今後も引き続き補助を行ってほしいという要望がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 文化財指定されている伝統文化の保存活動への補助であり、地域文化の推進に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町指定無形民俗文化財への活動補助であり、妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 無形民俗文化財の継承活動に対しての補助制度であるため妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 地域住民により継承されている行事であり、現行のままで良い。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 鏡野町を代表する伝統文化であり、保存活動に少なからず影響がある。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 地域住民により継承されている行事であり、改善の余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 補助金は事業費の一部であるが、最低限の補助額であり削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 職員の業務は補助金の支払い事務程度であり、削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 伝統文化保存のための活動費の一部助成であり公平である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取りつつ、徐々に例年通りの開催に戻っている。町の伝統文化を保存・継承するため、今後も補助を続けていく必要がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 現状維持が望ましい		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
特になし		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	鏡野町多目的公園整備事業費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06399	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	・鏡野町公園等維持管理基金条例 ・鏡野町立公園等条例 鏡野町立公園等条例施行規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R2 年度 ~ R5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	住民の方の憩いの場、幅広い年齢層の方が気軽に体を動かすことができる公園として、多目的広場、複合遊具等を備えた多目的公園を整備する。 ・手数料(追加土地購入に伴う分筆登記手数料) ・委託料…資産土地以外(公園敷地の草刈り等) ・委託料…建設仮勘定(測量、地質調査、工事設計、開発許可申請) ・工事請負費(令和4年度へ明許繰越)	町民アンケートにおいて、住民からの公園整備の要望は多く、多目的に利用できる広場や複合遊具の設置、健康遊具等も備えた幅広い年齢層に親しまれる多目的な公園を整備する。また、近年多発する自然災害時にも対応できるように備蓄倉庫等を設置する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯スポーツの活動拠点として活用してもらう	ア 不具合の対応数	件	目標		0	0	20,000	20,000
			実績		0	0		
			達成率		—	—		0.0%
イ 幅広い年齢層の方に憩いの場として活用してもらう	イ 清掃の回数	回	目標		0	0	20,000	20,000
			実績		0	0		
			達成率		—	—		0.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 委託契約	ア 委託数	件	目標		1	1	1	1
			実績		1	1		
			達成率		100.0%	100.0%		100.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		大事業		中事業		予算上の事業名		事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		51	20	鏡野町多目的公園整備事業費				
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金		92,811	44,325	78,150	-48,486	国庫支出金		68,600	44,325	78,150		-24,275			
県支出金						県支出金									
町債		38,900	103,900	106,000	65,000	町債		38,900	103,900	106,000		65,000			
その他特財						その他特財		36,062				-36,062			
一般財源	22,134	103,264		23,285	-103,264	一般財源	19,578	4,999		23,285		-4,999			
合計	22,134	234,975	148,225	207,435	-86,750	合計(A)	19,578	148,561	148,225	207,435		-336			
財源名称	社会資本整備総合交付金				従事正職員人数		1	1	1	2	1				
					延べ業務事務時間		250	800	1,000	1,500	300	200			
					人件費計(千円)(B)		836	2,680	3,421	5,043	1,009	741			
	最終予算額		148,225 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)		20,414	151,241	151,646	212,478	1,009	405		

事業番号	06399	事務事業名	鏡野町多目的公園整備事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	---------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 子どもを安心して遊ばせることができ、幅広い年齢層の住民が憩いの場として気軽に体を動かすことのできる公園整備の要望が強くなっている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 当初は防災公園整備であったが、整備予定地が50cm以下の浸水場所であり、多目的公園整備(付加価値として備蓄倉庫等を有した公園)となった。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 町民アンケートにおいて、地域住民からの公園整備の要望が多い。議会からも50cm以下の浸水場所であるためある程度嵩上げと緑ある公園整備との声がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	幅広い年齢層の方々が憩いの場として気軽に体を動かすことのできる公園を整備することは政策体系との整合性に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	町として、住民が憩いの場として気軽に体を動かすことのできる公園を提供するため適切である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	対象は住民であり適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	多目的に活用できる公園として大型複合遊具を設置し、健康遊具も備え駐車場も十分確保できており目標水準に達している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	幅広い年齢層の方々が憩いの場として気軽に体を動かすことのできる公園を整備を中止することは影響が大きい。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	令和5年度完成予定に向けて計画的に工事を行っており改善の余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	工事設計内容の削減余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	人件費(延べ業務時間)の削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	幅広い年齢層の方々が憩いの場として気軽に体を動かすことのできる公園を整備することは公平校正である。	

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	造成工事及び便所棟他、健康遊具、駐輪場、四阿が完成した。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 公園整備に伴う駐車場整備工事(東側)、緑化工事及び遊具の設置																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
公園管理の委託		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	鏡野町多目的公園整備事業費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06399-0	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R1 年度 ~ R5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	住民の方の憩いの場、幅広い年齢層の方が気軽に体を動かすことができる公園として、多目的広場、複合遊具等を備えた多目的公園を整備する。 工事請負費(令和4年度へ明許繰越)	町民アンケートにおいて、住民からの公園整備の要望は多く、多目的に利用できる広場や複合遊具の設置、健康遊具等も備えた幅広い年齢層に親しまれる多目的な公園を整備する。また、近年多発する自然災害等にも対応できるように備蓄倉庫等を設置する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯スポーツの活動拠点として活用してもらう	ア 利用人数	人	目標	0	0	0	20,000	
			実績	0	0	0		
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		#DIV/0!
イ 幅広い年齢層の方に憩い場として活用してもらう	イ 利用人数	人	目標	0	0	0	20,000	
			実績	0	0	0		
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		#DIV/0!
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 委託契約	ア 委託件数	件	目標	1	1	1	1	
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		#DIV/0!
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		鏡野町多目的公園整備事業費						
	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比		
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込			
国庫支出金			17,850			17,850	国庫支出金			16,660			16,660		
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源			24,150			24,150	一般財源			24,150			24,150		
合計			42,000			42,000	合計(A)			40,810			40,810		
財源名称	社会資本整備総合補助金						従事正職員人数						1	1	
							延べ業務事務時間						900	900	
							人件費計(千円)(B)						3,079	3,079	
	最終予算額		42,000 千円		予算執行率		97.1%		トータルコスト(A+B)		43,889		43,889		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	公園整備にかかる緑化工事の整備等行った。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	鏡野町スポーツ協会補助金			所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則	
06565	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり		係名	体育振興	担当者・シート作成者	長石 和夫	
	施策名	34	生涯スポーツの推進		根拠法令等				

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町スポーツ協会の事務局を担う。総会の開催、町協会所属の専門部への補助金交付、大会案内、大会結果報告、体協ニュース発刊を行う。	町民がスポーツに親しみ、スポーツ活動を通じての健康と交流を促進するため、スポーツ協会に活動支援として補助金交付を行ってきた。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 所属専門部数	人	見込	12	14	14	14	14
			実績	13	14	14		
イ	イ 会員数	人	見込	1,100	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績	864	854	834		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 各種スポーツの底辺拡大を図り、住民の健康を維持してもらう	ア 延べ大会参加者数	人	目標	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600
			実績	876	1,045	1,317		
			達成率	33.7%	40.2%	50.7%		50.7%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 役員会、総会の開催	ア 会議回数	回	目標	7	7	7	7	7
			実績	5	7	6		
			達成率	71.4%	100.0%	85.7%		85.7%
イ 主管大会の開催	イ 大会開催回数	回	目標	30	30	30	30	30
			実績	15	7	31		
			達成率	50.0%	23.3%	103.3%		103.3%
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 01		中事業 03		中事業 01		事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		保健体育総務費		鏡野町スポーツ協会補助金		06565		
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町債							町債						
その他特財							その他特財						
一般財源	1,814	1,864	1,864	1,864	1,864		一般財源	1,814	1,864	1,864	1,864	1,864	
合計	1,814	1,864	1,864	1,864	1,864		合計(A)	1,814	1,864	1,864	1,864	1,864	0
財源名称	従事正職員人数						2	2	2	2	2	2	100
	延べ業務事務時間						200	300	400	400	400	400	363
	人件費計(千円)(B)						669	1,005	1,368	1,345	1,345	1,345	363
	最終予算額		1,864 千円		予算執行率		100.0%		トータルコスト(A+B)		2,483	2,869	3,232

事業番号	06565	事務事業名	鏡野町スポーツ協会補助金	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	--------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
会員(部員)の高齢化が進み、会員数の減少とスポーツの多様化が見られる。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
補助金の用途及び報告において明確化し、活動等に関する助言を行った。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
長期にわたるコロナ禍の影響が減少し、活動を再開するにあたっての補助金交付額及び用途の拡大を望む声がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	スポーツ協会の多くの部は交付される補助金が活動資金の多くを占めており、町からのスポーツ協会への支援がなくなれば運営及び活動ができない可能性が高い。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	各部の大会運営資金として補助金を交付しており、スポーツ協会活動において町が関与する部分を精査する必要はあるが、補助金交付及び事務局等の関与がなければ、現状ではスポーツ協会運営が立ち行かない。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	主に町民で構成された団体であり適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	各部の活動は長年継続されたものであり、会員の募集等が行えていない部もあるため会員の高齢化及び減少が続いており、新規会員の確保が必要。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	スポーツ協会の補助金廃止は町のスポーツ推進及びスポーツ大会の運営等に多大な影響があり、所属会員等により独自運営が困難である。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	スポーツ人口の増加及び活性のため、関連団体の活動と相互に補完し合い、協力する必要がある。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	活動及び会計の明確化及び透明化を図り、補助金の適正使用を徹底し、活動費の自主財源確保を検討することで補助金の依存割合が低減することが可能。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	他市町村(都市部など)では、法人化し独自運営を行っており、事務局を委託できる団体があれば人件費は大きく削減できる。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	スポーツ協会は町民(スポ少以外)が誰でも加入できる町内唯一のスポーツ団体であり、その活動はスポーツ振興に結び付いていることから、公平公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	これまで長く続く町唯一の社会人主体のスポーツ団体であり、鏡野町のスポーツ振興の根幹である。 しかし今後、会員の高齢化及び減少に伴い規模が縮小する可能性があるため新規会員及び若年層の加入促進が必要である。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 各部で会員の増加と若返り促進及び運営資金(補助金)の適正化を図る。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
競技種目の多様化に対応し、加入しやすい環境を整備する。																									

事業番号	事務事業名	スポーツ少年団補助金	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06566	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	長石 和夫
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町スポーツ少年団への活動補助金を交付する。団員のスポーツ安全保険加入・総会・結団式の開催。団員登録・認定指導者講習会案内・スポーツ少年団大会案内を行う。(1団体・7協議会で構成)	昭和39年、町内各地域でのスポーツを通じた小・中学生の健全育成を目的にスポーツ少年団活動が始められ、行政の財政支援が開始された。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町内の小中学校の児童・生徒数	ア 小学校の児童	人	見込	650	650	640	640	640
			実績	659	658	624		
イ	イ 中学校の生徒	人	見込	320	320	310	310	310
			実績	307	314	343		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 小学生・中学生にスポーツを行うことで健全に育てよう	ア 団員登録数(小学生・中学生)	人	目標	220	220	220	220	220
			実績	241	213	195		
			達成率	109.5%	96.8%	88.6%		88.6%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 団員登録	ア 団員登録者数	人	目標	230	230	230	220	220
			実績	241	213	195		
			達成率	104.8%	92.6%	84.8%		88.6%
イ スポーツ保険加入事務	イ 安全保険加入者数	人	目標	290	280	270	260	260
			実績	256	244	220		
			達成率	88.3%	87.1%	81.5%		84.6%
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名				事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		保健体育総務費		03	02	スポーツ少年団補助金				06566
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	1,702	1,702	1,702	1,702	1,702		一般財源	1,522	1,564	1,702	1,702	1,702	138		
合計	1,702	1,702	1,702	1,702	1,702		合計(A)	1,522	1,564	1,702	1,702	1,702	138		
財源名称							従事正職員人数	2	2	1	1	1	-1		
							延べ業務事務時間	50	60	80	80	80	20		
							人件費計(千円)(B)	167	201	274	269	269	73		
	最終予算額	1,702 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)		1,689	1,765	1,976	1,971	1,971	211			

事業番号	06566	事務事業名	スポーツ少年団補助金	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
少子化に加えてクラブチーム等へ所属する児童も増加し、団員数が減少して協議会によっては存続が難しい場合もある。また、指導者も不足傾向にあり、その中で指導者資格制度が変更になるなど年々仕組みが複雑化している。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
単位団を統一し、複合団として行政が総合事務局を持っており、保護者及び代表者の負担軽減を行った。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
小学生のスポーツの機会の確保及び健全育成に寄与するため、継続的な財政支援が不可欠である声が主流である。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか?意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 小中学生のスポーツを通じた健全育成及びスポーツ振興を目的としており、制作体制に結びついている。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか?税金を投入して行うべき事業か?住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町内の小中学生が主な対象であり、助成金等により加入を断念する要因を削減しているため妥当である。	
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 町内の小中学生が主な対象としており妥当である。	
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか?成果を向上させる有効な手段はないか?何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 地域によっては団員及び指導者が減少し十分が活動ができないケースがある。岡山県が主導している事業等を活用し指導者等の掘り起こしによって連携を強化し活動の充実を図る余地がある。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は?目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 廃止した場合、各協議会の活動が著しく低下し受益者負担が増加するため小学生等のスポーツの機会が減少する可能性が高い。	
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 鏡野町スポーツ少年団の取り組みは各地区クラブ・運営方法等は永い運営の中で精査されているが、その取り組む環境が大きく変革している時期であるため即応性を高める組織作りが必要である。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 本事業はスポーツ少年団への補助金事業であり、その用途はスポーツ少年団内で決められている。また、余剰がある場合は補助金の返還を求めており削減の余地はない。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 スポーツ協会と同様に、委託できる団体があれば人件費の削減はできる。	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか?受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 スポーツ少年団活動の実態に沿った補助金交付がされており、配分額も団員数に合わせて行っているため、公平である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	少子化に伴い、登録団員数は緩やかに減少しており、スポーツ少年団でなく各種目クラブへ所属する児童等も増加している。このことから、成果指標を団員数ではなく加入率等で判断する必要がある。今後は、加入率の向上に加え指導者の確保が必要であり、スポーツ少年団の役割及び取り組み状況が大きく変革しているため組織運営の在り方を検討する必要がある。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題		指導者の確保を継続的にいき、これに伴って種目を増やすことで児童等へ選択の機会を創出する。																							
指導者の確保は継続的にしているが、既存指導者からの紹介又は競技経験のある保護者が自らの子が在団する間のみ指導する場合がほとんどである。新種目の設置については、児童等のニーズを把握する必要がありこれに伴う既存協議会の補助金配分額の減少が懸念される。																									

事業番号	事務事業名	かがみのマラソン大会事業費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06570	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	長石 和夫
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・小学生から高齢者まで幅広く参加できるマラソン大会で毎年11月第3日曜日に開催されてきた。今年は道路工事及びスタッフ削減のため会場を変更した。 ・新型コロナの影響により、人数制限を行った。 ・趣旨は「町民の健康づくりのきっかけづくり」 ・今年から高齢者でも参加しやすいウォーキング部門を新設。	この大会の前身は町村合併前の「鏡野健康マラソン大会」で、令和4年度大会は通算では34回目(36年間)の大会である。鏡野町を全国にアピールすることを主眼として、町体育協会が中心となって開始されたものである。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 大会参加者	ア 参加申込総数	人	見込	900	900	600	1,200	1,200
			実績	0	0	501		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア スポーツの楽しさを知ってもらう	ア 大会実参加者数	人	目標	850	850	540	1,200	1,200
			実績	0	0	500		
			達成率	0.0%	0.0%	92.6%		41.7%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 大会開催	ア 開催回数	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	0	0	1		
			達成率	0.0%	0.0%	100.0%		100.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 01		大 04	中 01	予算上の事業名				事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		保健体育総務費		04	01	かがみのマラソン大会事業費				06570
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財			1,065	4,578	4,578	1,065	その他特財				4,578	4,578			
一般財源	306	414	6,968	8,456	8,456	6,554	一般財源	270	413	7,913	9,564	9,564	7,500		
合計	306	414	8,033	13,034	13,034	7,619	合計(A)	270	413	7,913	14,142	14,142	7,500		
財源名称	イベント参加料						従事正職員人数	2	2	1	2	2	-1		
							延べ業務事務時間	200	600	1,500	1,500	1,500	900		
							人件費計(千円)(B)	669	2,010	5,132	5,043	5,043	3,122		
	最終予算額		8,033 千円	予算執行率	98.5%	トータルコスト(A+B)		939	2,423	13,045	19,185	19,185	10,622		

事業番号	06570	事務事業名	かがみのマラソン大会事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	---------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 新型コロナの影響により3年ぶりの開催となった。また、感染者数は減少傾向にあるが以前として多くの罹患者が発生していることから、今年度は趣旨を「鏡野町民の健康づくりのきっかけづくり」とし、人数制限を設けて実施した。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 会場を吉田ダムへ変更し、交通規制のトラブル及びスタッフ数の削減ができたが、令和4年度は人数制限を行った。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 永く続く大会であり、継続希望の声は一部である。しかし、スタッフ等の高齢化も伴って協力体制が難しくなっている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 町民の参加割合に加え、若年層の参加率が低下していることから見直しの余地がある。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町内に本事業を委託できる組織は存在せず、その他の大規模スポーツイベントでも町が関与していることから町の関与が必要である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	理由説明 本事業の趣旨である町民の健康づくりのきっかけづくりとしては、規模や対象を見直す余地がある。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 老若男女が参加しやすい種目及び内容を精査することで、成果向上の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 町内では最大規模のスポーツイベントであり、廃止した場合、町主催のスポーツイベントがなくなるため、代替等を検討しない場合は影響がある。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 令和4年度は会場を変更したことにより運営及びスタッフ数の改善を行い、一定の改善はあったが今後回数を重ねることでさらなる改善が見込める。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 大会運営スタッフはスポーツ協会、町職員等が最大限参加しており、スポーツイベントとしての安全性を最低限確保することに加え、物価高騰の影響もあり削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方を見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 本事業の準備・運営は委託可能な業務はすでに委託しており削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 本事業の対象は町民であるが、町民の割合が3割未満であることから見直しの余地はある。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり D 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	会場を変更し以前からの懸念事項である、交通規制及びスタッフ数の改善を行った。新たな会場になり1回目であり、新型コロナの影響によるさまざまな制限があるなかでの開催ではあったが、おおむね好評であった。今後回数を重ねることで、運営方法、事業費等が精査される見込みがある。																						
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<p>今後の改革改善案</p> <p>今年度の開催により、問題点等をヒアリングし次年度で改善を行う。今後、コロナ前の規模へ戻す場合の目的設定を明確にする。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																							
目的(趣旨)の設定は、主催のみでなく主管団体であるスポーツ協会との協議が必要であり物価高騰の影響がある中で予算との整合性を見直す必要がある。																							

事業番号	事務事業名	各種スポーツ大会事業費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06573	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	長石 和夫
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・スポーツの全国大会(国際大会)に出場する選手に激励金を支給する事業であり、壮行式を行い激励金を贈呈する ・スポーツ推進委員が主催するスポーツ大会の開催	・国体や全国選手権大会・インターハイなどの大会に出場する町内在住の選手の健闘を激励するために開始 ・ニュースポーツ普及のためスポーツ推進委員主催のスポーツ大会を平成9年から開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,600
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ 全国大会出場者	イ 全国大会出場者数	人	見込	35	35	35	35	35
			実績	5	8	16		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア ニュースポーツの楽しさを知ってもらう	ア ニュースポーツ指導を受けた人数	人	目標	450	450	450	450	450
			実績	88	69	91		
			達成率	19.6%	15.3%	20.2%		20.2%
イ 大会出場者の競技意欲の向上を図る	イ 入賞者数	人	目標	5	5	5	5	5
			実績	0	0	0		
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 各地域でのニュースポーツ指導開催	ア ニュースポーツ指導回数	回	目標	20	20	20	20	20
			実績	3	3	4		
			達成率	15.0%	15.0%	20.0%		20.0%
イ 激励金贈呈	イ 激励金贈呈者数	人	目標	35	35	35	35	35
			実績	5	7	15		
			達成率	14.3%	20.0%	42.9%		42.9%
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 01		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		保健体育総務費		各種スポーツ大会事業費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度	10 年度	11 年度	12 年度	13 年度	14 年度	15 年度	16 年度	17 年度
実績	実績	実績	見込	見込	前年比	決算(千円)	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度	10 年度
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	20	20	20	20	20	その他特財	12			20		20			
一般財源	384	120	420	420	420	一般財源	154	80	180	420	420	420	100		
合計	404	140	440	440	440	合計(A)	166	80	180	440	440	440	100		
財源名称	イベント参加料					従事正職員人数	2	2	1	1	1	1	-1		
						延べ業務事務時間	30	20	20	20	20				
						人件費計(千円)(B)	100	67	68	67	67	1			
	最終予算額		440 千円	予算執行率	40.9%	トータルコスト(A+B)	266	147	248	507	507	101			

1枚目

事業番号	06573	事務事業名	各種スポーツ大会事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 新型コロナの影響により全国大会は未だ規模の縮小傾向であり、全国大会出場者は減少している。ニュースポーツ指導についても、昨年同様に学校及び学級PTAの指導依頼が減少している。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 スポーツ推進委員の活動を広報紙等で認知度の向上を図った。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 昨年に続き、新型コロナ禍の影響でスポーツ大会やニュースポーツの指導依頼は減少したが、学校単位での交流会で指導を行い好評だった。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 本事業は全国大会出場者の激励及びニュースポーツ指導を通して町民にスポーツ啓発を行うことが目的であるため政策体系と結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町内選手の活動支援及び広報は行政が行う必要がある。また、健康づくり、スポーツ推進はスポーツ推進委員会が担いスポーツ基本法に規定しているため行政が関与する必要がある。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 全国大会(国際大会)の出場者及び町内団体の希望者が対象であり妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 激励金の支給は壮行式を行い広く周知してスポーツへの関心を高めている。スポーツ推進委員の活動はコロナ禍で活動が制限された中のためできる範囲での活動を最大限行った。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 町民のスポーツへの関心及び取り組み意欲の向上が損なわれる恐れがあり、影響がある。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 全国大会への出場は選手の力量によることであり、スポーツ推進委員活動は現在コロナ禍で自粛傾向が強いため改善余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 激励金の額及びスポーツ大会等の事業費は資材を借用等して行っており削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 壮行式等は簡素なものであり、スポーツ推進委員は規則で定められた報酬を支払い、活動及び指導依頼は無償のため削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 内規及び規則に基づいて事業を行い、町内選手が対象のため公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり	全国大会出場者激励金は制度を初めて聞いた方も多いため今後周知が必要。 コロナにより制限及び自粛期間での大会及び活動であり、激励金及びスポーツ指導の申請は減少している。年度後半からは徐々に緩和され申請が増加しているが、スポーツ指導依頼が平日が多く対応できる人員が限られている。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 全国大会出場者激励金は広報を行い町民に広く周知する。 スポーツ推進委員の活動においても事業の認知が低いため今後、自粛等の緩和に伴い指導依頼が増加する可能性があるが広く周知する。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持																								
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
両事業とも認知度の向上のため、広報紙等による周知を積極的に行う。																									

事業番号	事務事業名	鏡野地区体育施設経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06602	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法、指定管理者条例、体育施設条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	●鏡野地区体育施設の指定管理業務 ・鏡野町文化スポーツセンター ・B&G海洋センター ・鏡野ドーム ・テニスコート ・総合グラウンド ・スポーツロッジ ●鏡野町指定管理施設事業継続支援補助金の交付。	平成22年度より民間活力の導入による施設利用の効率化と利用者へのサービス向上を図るため指定管理者制度を導入した。今年度鏡野町文化スポーツセンターの改修・増築工事を行った。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	→	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	→	イ		実績	12,625	12,497	12,358		
				見込					
				実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 快適に利用してもらう	→	ア 施設利用者数	人	目標	90,000	35,000	40,000	45,000	60,000
イ	→	イ		実績	52,087	34,344	72,710		
				達成率	57.9%	98.1%	181.8%		121.2%
				目標					
				実績					
				達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 体育施設の維持管理	→	ア 稼働率(主要施設)	%	目標	60	60	60	60	60
イ	→	イ		実績	51	56	43		
				達成率	85.2%	93.7%	71.7%		71.7%
				目標					
				実績					
				達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 07 保健体育費		目 02 体育施設費		予算上の事業名						事業番号
	01		10		07		02		鏡野地区体育施設経常管理費						
															06602
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	34,205	33,525	37,862	36,625	36,625	4,337	一般財源	34,205	33,525	36,638	36,625	36,625	3,113		
合計	34,205	33,525	37,862	36,625	36,625	4,337	合計(A)	34,205	33,525	36,638	36,625	36,625	3,113		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間						155	157	157	157	157				
	人件費計(千円)(B)						518	526	537	528	528		11		
	最終予算額		37,862 千円	予算執行率		96.7%	トータルコスト(A+B)		34,723	34,051	37,175	37,153	37,153	3,124	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	コロナウイルスの影響もあり、大会等の利用が減っているため稼働率としては低い。燃料・電気代の高騰により経費が増加したため、鏡野町指定管理施設事業継続支援補助金を交付した。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	文化スポーツセンター経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06603	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	鏡野町体育施設条例・鏡野町体育施設の運営に関する要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	文化スポーツセンター自家発電用蓄電池の交換 文化センター外便所汚水柵の改修 文化スポーツセンター2階バルコニー防水修繕工事	施設の老朽化などにより、自家発電用の蓄電池の交換、外便所汚水柵の改修、2階バルコニー防水修繕が必要となったため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 快適に利用してもらう	ア 施設利用者数	人	目標	28,000	25,000	12,000	13,000	25,000
			実績	16,028	2,890	20,613		
			達成率	57.2%	11.6%	171.8%		82.5%
イ			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 委託契約	ア 委託数	件	目標			3		
			実績			3		
			達成率			100.0%		#DIV/0!
イ			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 07 保健体育費		目 02 体育施設費		予算上の事業名						事業番号
									文化スポーツセンター経常管理費						
									01 01		11				06603
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源			2,048			2,048	一般財源			2,047			2,047		
合計			2,048			2,048	合計(A)			2,047			2,047		
財源名称							従事正職員人数			1			1		
							延べ業務事務時間			15			15		
							人件費計(千円)(B)			51			51		
	最終予算額	2,048 千円		予算執行率	99.9%		トータルコスト(A+B)			2,098			2,098		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	施設・設備等、老朽化がきており計画的な修繕が必要となっている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	B&G海洋センター臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06614	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法、指定管理者条例、体育施設条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	●B&G海洋センターろ過循環ポンプの修繕工事 ●小プールの塗膜剥離修繕及びシャワー室床補修	ろ過循環ポンプより漏水があったため、早急に修繕を行う必要があったため。また、小プールの塗膜剥離及びシャワー室の床の補修が必要だったため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア B&G海洋センター利用者	ア 利用者数	人	見込	21,000	14,000	16,000	16,000	16,000
			実績	13,970	12,962	16,706		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア B&G海洋センター利用者	ア 利用者数	人	目標	21,000	14,000	16,000	16,000	16,000
			実績	13,970	12,962	16,706		
			達成率	66.5%	92.6%	104.4%		104.4%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 稼働日数	ア 稼働日数	日	目標	250	230	240	240	240
			実績	245	212	267		
			達成率	98.0%	92.2%	111.3%		111.3%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 07 保健体育費		目 02 体育施設費		予算上の事業名 B&G海洋センター臨時管理費						事業番号 06614
	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	419	1,327	753			-574	一般財源	403	1,326	753			-573		
合計	419	1,327	753			-574	合計(A)	403	1,326	753			-573		
財源名称							従事正職員人数	1	1	1					
							延べ業務事務時間	5	14	14					
							人件費計(千円)(B)	17	47	48			1		
	最終予算額		753 千円	予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)	420	1,373	801			-572		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	施設・設備等、老朽化がきており計画的な修繕が必要となっている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津運動公園臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06616	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法、指定管理者条例、体育施設条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	●奥津運動公園グラウンドのマウンド等の整形	雨等の影響によりマウンド等の土が流出しており、危険なため、土を入れて整形を行った。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 奥津運動公園利用者数	ア 利用者数	人	見込	2,000	1,000	1,200	1,200	1,200
			実績	1,051	1,164	1,867		
イ	イ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 奥津運動公園利用者数	ア 利用者数	人	目標	2,000	1,000	1,200	1,200	1,200
			実績	1,051	1,164	1,867		
			達成率	52.6%	116.4%	155.6%		155.6%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 委託契約	ア 委託数	件	目標		1	1	1	
			実績		1	1		
			達成率		100.0%	100.0%		#DIV/0!
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		体育施設費		奥津運動公園臨時管理費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	06616		
実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	518	786	1,116	3,556	330	一般財源	518	786	1,115	3,556		329			
合計	518	786	1,116	3,556	330	合計(A)	518	786	1,115	3,556		329			
財源名称					従事正職員人数		1	1	1	1					
					延べ業務事務時間		15	15	15	20					
					人件費計(千円)(B)		50	50	51	67		1			
	最終予算額		1,116 千円		予算執行率		99.9%		トータルコスト(A+B)		568	836	1,166	3,623	330

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	施設・設備等、老朽化がきており計画的な修繕が必要となっている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津町民体育館臨時管理費			所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06618	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり		係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	34	生涯スポーツの推進		根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	奥津町民体育館改修工事に関する経費	奥津町民体育館は施設ができてから大幅な改修工事を行っておらず、屋根や各所が経年劣化で痛んできている。そのことに伴い改修を行う。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	→	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	→	イ 奥津地区人口	人	実績	12,625	12,497	12,358		
				見込	550	475	470	465	
				実績	482	475			
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民にスポーツへ取り組んでもらう	→	ア 施設利用者	人	目標	2,000	1,950	1,000	2,100	2,100
イ	→	イ		実績	2,002	2,283	315		
				達成率	100.1%	117.1%	31.5%		15.0%
				目標					
				実績					
				達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 委託契約	→	ア 委託数	件	目標		1	1	1	
イ	→	イ		実績		1	1		
				達成率		100.0%	100.0%		#DIV/0!
				目標					
				実績					
				達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		体育施設費		奥津町民体育館臨時管理費						
	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比		
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込			
国庫支出金			85,000	50,000		85,000	国庫支出金				50,000				
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源		7,896	12,509	38,167		4,613	一般財源		7,260	85,095	38,167		77,835		
合計		7,896	97,509	88,167		89,613	合計(A)		7,260	85,095	88,167		77,835		
財源名称	従事正職員人数								1	1	1				
	延べ業務事務時間								50	50	50				
	人件費計(千円)(B)								168	171	168		4		
	最終予算額		97,509 千円	予算執行率		87.2%	トータルコスト(A+B)			7,428	85,266	88,335		77,839	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	施設・設備等、老朽化がきており計画的な修繕が必要となっている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原観光スポーツ施設臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06620	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法、指定管理者条例、体育施設条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	上齋原観光スポーツ施設グラウンドのラバーフェンスの修繕	上齋原観光スポーツ施設グラウンドの1塁側ラバーフェンスが破損したため修繕をした。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ	イ 上齋原地区人口	人	見込	550	510	500		
			実績	534	517	496		

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民にスポーツへ取り組んでもらう	ア 施設利用者	人	目標	6,500	4,900	5,000	5,100	5,100
			実績	5,155	3,457	4,247		
			達成率	79.3%	70.6%	84.9%		83.3%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 委託契約	ア 委託件数	件	目標		1	1		
			実績		1	1		
			達成率		100.0%	100.0%		#DIV/0!
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 02		予算上の事業名						事業番号	
	一般会計		教育費		保健体育費		体育施設費		上齋原観光スポーツ施設臨時管理費							
									01	52						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比				
実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込					
国庫支出金						国庫支出金										
県支出金						県支出金										
町債						町債										
その他特財						その他特財										
一般財源	1,300	303	644		341	一般財源	462	303	644			341				
合計	1,300	303	644		341	合計(A)	462	303	644			341				
財源名称			従事正職員人数						1			1				
			延べ業務事務時間						15			15				
			人件費計(千円)(B)						51			51				
	最終予算額		644 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)		462	303	695			392			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	施設・設備等、老朽化がきており計画的な修繕が必要となっている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富運動公園経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06625	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法・体育施設条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	富運動公園(グラウンド・管理棟・屋外トイレ)の維持管理、貸出し業務を行なう。施設の維持管理(グラウンドの除草・整地、傾斜地の草刈・管理棟の掃除屋外トイレ清掃(管理委託)・水道施設の保守管理)及び管理等で生じた経費の支払事務。 平成29年度から地域のSP団体に管理委託している。	富地区のスポーツ振興や健康づくり、交流行事の拠点として昭和60年清水地区に現在の施設を開設した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町内人口	人	見込 実績	12,143 12,625	11,970 12,497	11,800 12,358	11,627	11,455
イ	イ 富地域人口	人	見込 実績		550 545	540 528	530	530

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民にスポーツへ取り組んでもらう	ア 施設利用者	人	目標 実績 達成率	320 322 100.6%	320 280 87.5%	320 191 59.7%	320	320
イ	イ 施設利用回数	回	目標 実績 達成率	40 40 100.0%	40 35 87.5%	40 21 52.5%	40	40

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 各種スポーツの練習・試合	ア 施設利用回数	回	目標 実績 達成率	40 40 100.0%	40 35 87.5%	40 21 52.5%	40	40
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		体育施設費		富運動公園経常管理費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町 債						町 債									
その他特財	14	14	14	14	14	その他特財	17	16	8	14	14	-8			
一般財源	693	1,317	981	981	981	-336	一般財源	618	1,281	792	981	981	-489		
合計	707	1,331	995	995	995	-336	合計(A)	635	1,297	800	995	995	-497		
財源名称	富運動公園利用料				従事正職員人数			1	1	1	1	1			
					延べ業務事務時間			21	18	20	20	20	2		
					人件費計(千円)(B)			70	60	68	67	67	8		
	最終予算額		995 千円		予算執行率		80.4%		トータルコスト(A+B)		705	1,357	868	1,062	1,062

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
見直し余地がある	目標水準に達している	コロナウイルスの関係で利用者が少なくなっているが、富地区の運動公園として地域の方の活用が主である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原地区体育施設経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06627	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法・指定管理者条例・体育施設条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	上齋原地区体育施設指定管理に伴う諸事務 ・上齋原観光スポーツ施設 ・上齋原屋内ゲートボール場 鏡野町指定管理施設事業継続支援補助金の交付	従来から施設管理を受託し、十分な管理ノウハウを持つ地元団体の活力導入による施設利用活性化をはかるため、平成23年度から指定管理制度導入の準備を進め、平成23年12月議会において可決、平成24年度より指定管理体制へ移行した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	町民	→	ア	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
					実績	12,625	12,497	12,358		
イ		→	イ	人	見込	550	510	500	495	495
					実績	534	517	496		

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	町民にスポーツへ取り組んでもらう	→	ア	人	目標	6,500	4,900	5,200	5,200	5,200
					実績	5,155	3,457	4,247		
					達成率	79.3%	70.6%	81.7%		81.7%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	各種スポーツの練習・試合	→	ア	回	目標	350	280	320	320	320
					実績	280	300	288		
					達成率	80.0%	107.1%	90.0%		90.0%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町民	ア	日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 07 保健体育費		目 02 体育施設費		予算上の事業名						事業番号	
									上齋原地区体育施設経常管理費							
									01 02 03 04 05 06		07 08 09		10 11 12		13 14	
2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比				
国庫支出金						国庫支出金										
県支出金						県支出金										
町債						町債										
その他特財						その他特財										
一般財源	7,489	7,198	10,000	7,517	7,517	2,802	一般財源	7,489	7,197	8,829	7,517	7,517	1,632			
合計	7,489	7,198	10,000	7,517	7,517	2,802	合計(A)	7,489	7,197	8,829	7,517	7,517	1,632			
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1					
	延べ業務事務時間						62	64	64	64	64					
	人件費計(千円)(B)						207	214	219	215	215	5				
	最終予算額	10,000 千円		予算執行率	88.2%		トータルコスト(A+B)	7,696	7,411	9,048	7,732	7,732	1,637			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	コロナウイルスの影響もあり、大会等の利用者数は増加していない。燃料・電気代の高騰により経費が増加したため、鏡野町指定管理施設事業継続支援補助金を交付した。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津地区体育施設経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06628	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法・指定管理者条例・体育施設条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	奥津地区体育施設指定管理に伴う諸事務 ・奥津運動公園 ・奥津町民体育館	従来から施設管理を受託し管理ノウハウを持つ地元団体の活力導入による施設利用活性化をはかるため、平成26年度から指定管理制度導入の準備を進め、平成27年度から指定管理体制へ移行した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	→	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
イ	→	イ 奥津地区人口	人	実績	12,625	12,497	12,358		
				見込	1,230	1,200	1,200	1,150	1,150
				実績	1,230	1,189	1,147		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民にスポーツへ取り組んでもらう	→	ア 施設利用者	人	目標	2,000	1,950	1,000	2,100	2,100
イ	→	イ		実績	2,002	2,283	2,182		
				達成率	100.1%	117.1%	218.2%		103.9%
				目標					
				実績					
				達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 各種スポーツの練習・試合	→	ア 施設利用回数	回	目標	50	50	30	65	65
イ	→	イ		実績	53	85	70		
				達成率	106.0%	170.0%	233.3%		107.7%
				目標					
				実績					
				達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		体育施設費		奥津地区体育施設経常管理費						
	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	06628	
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込			
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	3,840	3,840	3,840	3,840	3,840		一般財源	3,840	3,840	3,840	3,840	3,840			
合計	3,840	3,840	3,840	3,840	3,840		合計(A)	3,840	3,840	3,840	3,840	3,840			
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間						52	52	52	52	52				
	人件費計(千円)(B)						174	174	178	175	175		4		
	最終予算額	3,840 千円		予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)	4,014	4,014	4,018	4,015	4,015		4	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	コロナウイルスの影響もあり、利用者数としては増えていない。また、奥津町民体育館は改修工事のため7月~1月は利用休止としていた。
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	塚谷公園経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06629	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	体育振興	担当者・シート作成者	長石 和夫
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等	スポーツ基本法 鏡野町立公園等条例 鏡野町立公園等条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・平成16年度に整備された塚谷150番地の塚谷公園の維持管理を行う業務。 ・日常の管理は、グラウンドゴルフ塚谷管理会に委託し、修繕等は協議して行う。	・平成16年度に、周辺住民の生涯スポーツの拠点として整備された。 ・平成17年度より鏡野町が維持管理を行っている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 鏡野町出身であり、扶養対象者であること。また扶養義務者が鏡野町に住所を有している大学生等	ア 町民	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,600
			実績	12,625	237	12,358		
イ			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯スポーツの活動拠点として活用してもらう	ア 利用日数	日	目標	190	190	190	190	190
			実績	127	85	89		
			達成率	66.8%	44.7%	46.8%		46.8%
イ	イ 利用人数	人	目標	3,200	3,200	3,200	3,200	
			実績	2,161	1,968	2,038		
			達成率	67.5%	61.5%	63.7%		#DIV/0!

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 公園の管理・運営	ア 開園日数	日	目標	358	358	296	296	296
			実績	219	313	301		
			達成率	61.2%	87.4%	101.7%		101.7%
イ			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		保健体育費		体育施設費		塚谷公園経常管理費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	600	900	770	900	900	-130	その他特財	1,000	1,175	1,002	900	900	-173		
一般財源	1,949	1,175	1,086	1,039	1,039	-89	一般財源	1,750	205	331	1,039	1,039	126		
合計	2,549	2,075	1,856	1,939	1,939	-219	合計(A)	2,750	1,380	1,333	1,939	1,939	-47		
財源名称	協働のまちづくり推進助成金				従事正職員人数		1	1	1	1	1				
					延べ業務事務時間		50	50	50	50	50				
					人件費計(千円)(B)		167	168	171	168	168	4			
	最終予算額		1,856 千円		予算執行率		71.8%		トータルコスト(A+B)		2,917	1,548	1,504	2,107	2,107

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	これまで個人との委託契約を行っていたが、継続して契約を行うことが難しくなっていたため、地縁団体と契約を行った。本年は委託初年度であるため管理面積を縮小したが、今後は通常範囲での契約をする見込みがあり、構成員は高齢傾向ではあるが、所属人数が多いため分担して委託管理を行っている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	保健体育総務経常管理費			所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則	
06552	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり			係名	体育振興	担当者・シート作成者	長石 和夫
	施策名	34	生涯スポーツの推進			根拠法令等	スポーツ基本法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・スポーツ振興施策全般に係る事務事業 ・研修会・会議への出席・諸会議の通知・開催 ・スポーツ用具等の購入・スポーツ少年団登録事務など	従来よりスポーツ振興施策と推進の基盤となる各種事務を行ってきた。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 体力維持・向上・精神的快適さを保つ	ア 体育施設全体の利用者数	人	目標	108,000	111,000	111,000	111,000	
			実績	58,107	42,787	82,817		
			達成率	53.8%	38.5%	74.6%		#DIV/0!
イ			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア スポーツ大会・研修会の案内	ア 案内状の送付	部	目標	560	560	560	560	
			実績	500	463	420		
			達成率	89.3%	82.7%	75.0%		#DIV/0!
イ			目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 01		予算上の事業名						事業番号		
	一般会計		教育費		保健体育費		保健体育総務費		保健体育総務経常管理費								
									01	03							
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債							町債										
その他特財			1	1	1	1	その他特財				1	1					
一般財源	643	1,050	1,041	1,059	1,059	-9	一般財源	446	421	432	1,059	1,059	11				
合計	643	1,050	1,042	1,060	1,060	-8	合計(A)	446	421	432	1,060	1,060	11				
財源名称	体育振興雑入						従事正職員人数	2	3	2			-1				
							延べ業務事務時間	800	400	400							
							人件費計(千円)(B)	2,674	1,340	1,368			28				
	最終予算額		1,042 千円		予算執行率		41.4%		トータルコスト(A+B)		3,120	1,761	1,800	1,060	1,060	39	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	年度中期まで新型コロナの影響により各種活動に制限があったが、徐々に活動を再開できている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	健康づくり公園経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06631	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	体育振興係	担当者・シート作成者	長石 和夫
	施策名	34 生涯スポーツの推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・平成16年度に整備された上森原298番地の健康づくり公園の維持管理を行う業務。 ・日常の管理は、上森原地区に委託し、修繕等は協議して行う。	・平成16年度に、周辺住民の生涯スポーツの拠点として整備された。 ・平成17年度より鏡野町が維持管理を行っている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口		見込	12,143	11,970	11,843	11,627	11,600
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ	イ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯スポーツの活動拠点として活用してもらう	ア 利用日数	日	目標	145	130	125	125	125
			実績	124	119	74		
			達成率	85.5%	91.5%	59.2%		59.2%
イ	イ 利用人数	人	目標	2,200	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績	1,578	1,592	1,449		
			達成率	71.7%	79.6%	72.5%		72.5%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 公園の管理・運営	ア 開園日数	日	目標	306	306	296	296	296
			実績	299	313	311		
			達成率	97.7%	102.3%	105.1%		105.1%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 日頃からスポーツに取り組んでもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 07		目 02		予算上の事業名						事業番号		
	一般会計		教育費		保健体育費		体育施設費		健康づくり公園経常管理費								
									01	77							
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債							町債										
その他特財	400	900	580	510	510	-320	その他特財	450	798	798	510	510					
一般財源	1,357	141	677	596	596	536	一般財源	1,155	103	37	596	596	-66				
合計	1,757	1,041	1,257	1,106	1,106	216	合計(A)	1,605	901	835	1,106	1,106	-66				
財源名称	協働のまちづくり推進助成金						従事正職員人数		1	1	1	1	1				
							延べ業務事務時間		50	50	50	50	50				
							人件費計(千円)(B)		167	168	171	168	168	4			
	最終予算額		1,257 千円		予算執行率		66.4%		トータルコスト(A+B)		1,772	1,069	1,006	1,274	1,274	-62	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	本施設が所在する地区へ委託契約しており、委託地区は本事業開始当初から管理しているため実績がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	社会教育総務経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
05922	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	社会教育等事業に関する経費、美作地区社会教育委員連絡協議会負担金等の負担金を支払う事業	町内市町村の社会教育関係の研修と情報交換のために各種協議会が設置された。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習団体	ア 公民館等活動団体数	団体	見込 実績	198 198	196 196	196 196	196	196
イ 社会教育主事等の職員	イ 社会教育関係等の職員	人	見込 実績	2 2	2 2	2 2	2	2

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 学習活動の参考にしてもらう	ア 資質向上対象職員	人	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2	2
イ 職員の資質の向上	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 研修会・会議等への出席	ア 会議等の出席回数	回	目標 実績 達成率	5 4 80.0%	4 4 100.0%	5 4 80.0%	5	5
イ 負担金の支払い	イ 負担金支払い事務	件	目標 実績 達成率	10 10 100.0%	10 10 100.0%	10 10 100.0%	10	10

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 款 10 項 06 目 01 社会教育総務費						中事業 03 社会教育総務経常管理費						事業番号 05922		
	2 年度		3 年度		4 年度		2 年度		3 年度		4 年度				
予算(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	前年比	決算(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財		506	429			-77		
一般財源	1,125	12,395	10,411	9,625	9,625	-1,984	一般財源	1,114	11,099	9,255	9,625	9,625	-1,844		
合計	1,125	12,395	10,411	9,625	9,625	-1,984	合計(A)	1,114	11,605	9,684	9,625	9,625	-1,921		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						10	20	20	20	20	20			
	人件費計(千円)(B)						33	67	68	67	67	67	1		
	最終予算額		10,411 千円		予算執行率		93.0%		トータルコスト(A+B)		1,147	11,672	9,752	9,692	9,692

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	社会教育等事業に関する経費は行政が行うことで抑えられ、美作地区社会教育委員連絡協議会負担金等の負担をしており予算削減等の削減の余地はない。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	大学生等生活応援給付金給付事業	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
05924	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	体育振興	担当者・シート作成者	長石 和夫
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町大学生等生活応援給付金給付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、経済活動への影響が生じていることから、鏡野町出身かつ扶養義務者が鏡野町内に住所を有している大学生等を対象に生活を応援するため、生活応援給付金の給付を1人につき1回に限り6万円を給付する。	令和3年度7月より開始。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、経済活動への影響が生じている大学生等の生活を応援するため実施。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 鏡野町出身であり、扶養対象者であること。また扶養義務者が鏡野町に住所を有している大学生等	ア 給付申請をした大学生等の人数	人	見込 実績	260 223	250 237	250 212	0	
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 大学生等の経済生活の改善	ア 給付申請をした大学生等の人数	人	目標 実績 達成率	260 223 85.8%	250 237 94.8%	250 212 84.8%	0	#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 給付決定	ア 給付決定をした大学生等の人数	人	目標 実績 達成率	260 219 84.2%	250 232 92.8%	250 209 83.6%	0	#DIV/0!
イ 広報活動	イ 広報誌掲載・有線テレビでの告知	回	目標 実績 達成率	5 5 100.0%	7 7 100.0%	7 7 100.0%	0	#DIV/0!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 款 10 項 06 目 01						中事業 01 05						事業番号
	一般会計 教育費 社会教育費 社会教育総務費						大学生等生活応援給付金給付事業						
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比
国庫支出金	5,000	10,000	11,399			1,399	国庫支出金	5,000	10,000	11,399			1,399
県支出金							県支出金						
町債							町債						
その他特財							その他特財						
一般財源	3,000	5,120	3,701			-1,419	一般財源	1,700	4,131	1,174			-2,957
合計	8,000	15,120	15,100			-20	合計(A)	6,700	14,131	12,573			-1,558
財源名称	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金						従事正職員人数	2	1	1			
							延べ業務事務時間	200	200	180			-20
							人件費計(千円)(B)	669	670	616			-54
	最終予算額	15,100 千円		予算執行率	83.2%		トータルコスト(A+B)	7,369	14,801	13,189			-1,612

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	既に就職しており、スキルアップ等を完結した大学生等の在り方は本事業の趣旨と異なるため要綱を改正し、対象者の適正を図った。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	本事業の趣旨は、新型コロナの影響によって生活が困窮する大学生等の支援を目的としているため納税状況確認に問われない支援を検討する余地がある。新型コロナの扱いが2類から5類へ移行したことで本事業の役割は終了したものと考える。
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	高校生等生活応援給付金給付事業	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
05925	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	原油・物価高騰に直面する、高校生等を監護する世帯を支援するため、生活応援給付金の給付を1人につき1回限り5万円を給付する。	令和4年8月より開始。 原油・物価高騰に直面する、高校生等を監護する世帯を支援するため実施。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 高校生等または扶養義務者の両方またはいずれかが領府内に住所を有する者	ア 給付申請をした対象者の人数		見込 実績			320 266		
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 高校生等の経済生活の改善	ア 給付申請をした高校生等の人数		目標 実績 達成率			320 266 83.1%		#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 給付決定	ア 給付申請をした高校生等の人数		目標 実績 達成率			320 266 83.1%		#DIV/0!
イ 広報活動	イ 広報誌掲載・有線テレビでの告知		目標 実績 達成率			7 7 100.0%		#DIV/0!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 款 10 項 06 目 01 社会教育総務費						予算上の事業名						事業番号
	一般会計 教育費 社会教育費 社会教育総務費						高校生等生活応援給付金給付事業						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	
国庫支出金						国庫支出金			10,217			10,217	
県支出金						県支出金							
町債						町債							
その他特財						その他特財							
一般財源		16,090			16,090	一般財源			3,141			3,141	
合計		16,090			16,090	合計(A)			13,358			13,358	
財源名称	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金					従事正職員人数			1			1	
						延べ業務事務時間			200			200	
						人件費計(千円)(B)			684			684	
	最終予算額	16,090 千円	予算執行率	83.0%	トータルコスト(A+B)				14,042			14,042	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	対象者への周知についても十分に行い、また申請者数も見込数の80%を超える申請・給付を行うことができた。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原地域高校生教育支援補助金	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
05926	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	青少年教育	担当者・シート作成者	片田 知宏
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	上齋原地域高校生教育支援補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・町の高校生通学助成金支給制度を補完するため、上齋原財産区住民を対象に、申請により上齋原地域高校生教育支援補助金を交付。 ・交付額は、通学費用で公共交通(路線バス定期券)利用の場合の費用を基準に、通学形態を問わず、在籍高校生1人1か月当たり1万円。	・上齋原財産区特別会計からの一般財源への繰出金を財源にしており、同財産区住民への福祉の一環としての目的達成のため、負担の大きい高校生の通学等費用の補助を、保護者一同からの補助制度創設要望をきっかけに、制度を整備し令和4年度に開始した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 上齋原地域高校生	ア 上齋原地域高校生在籍数	人	見込	0	0	11	7	5
			実績	0	0	11		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地域の高校生に健全に通学してもらう	ア 補助対象者の数	人	目標	0	0	11	7	5
			実績	0	0	11		
			達成率	—	—	100.0%		220.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 補助金申請の受付	ア 補助金申請数	件	目標	0	0	11	7	5
			実績	0	0	11		
			達成率	—	—	100.0%		220.0%
イ 補助金の交付	イ 補助金交付数	件	目標	0	0	11	7	5
			実績	0	0	11		
			達成率	—	—	100.0%		220.0%
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		大事業 01	中事業 07	予算上の事業名					事業番号 05926
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費				上齋原地域高校生教育支援補助金					
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源			1,320	840	600	1,320	一般財源			1,320	840	600	1,320			
合計			1,320	840	600	1,320	合計(A)			1,320	840	600	1,320			
財源名称							従事正職員人数			1	1	1	1			
							延べ業務事務時間			20	20	20	20			
							人件費計(千円)(B)			68	67	67	68			
	最終予算額	1,320 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)					1,388	907	667	1,388			

事業番号	05926	事務事業名	上齋原地域高校生教育支援補助金	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-----------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
令和4年度が開始年度
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
令和4年度が開始年度
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
地域が高校立地の津山市から僻遠のため、町の通学助成金では賄いきれず交通費負担が大きいので、事業対象者(保護者)からは、感謝されている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 町の高校生通学助成金支給制度を補完している。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町の高校生通学助成金支給制度を補完している。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 対象・意図は明確であり適切である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 目標水準に達している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 地域の保護者の経済的負担が増大し、大きな影響がある。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 最低限の事務負担量で実施している。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 補助金は、通学の交通費を基準にして妥当な補助額(事業費)と考えられる。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 最低限の事務負担量で実施している。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 対象者全体に案内し、また別途地域回覧等を実施している。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	・事業は今年度(令和4年度)に開始されたばかりであるが、地域の青少年の減少は著しく、事業開始が遅きに失っているきらいがある。しかし、現在及び今後の地域高校生の通学支援の経済的な大きな支えになっている。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 ・事業的には現状維持が妥当であるが、今後とも対象者(地域の高校在籍者)の確認等に留意する必要がある。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
・対象者の適切な確認方法。																									

事業番号	事務事業名	社会教育学級開設費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
05950	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	32	生涯学習の推進	根拠法令等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	中央公民館主催講座の運営 ・実施計画作成 ・講師依頼 ・募集要項、チラシ作成 ・申込み受け ・受講決定書送付 ・受講料調定 講師謝金支払・修了証書授与	平成5年度に実施された初級ワープロ講座が初めての主催講座。現在もパソコン講座として継続されている。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町内住民	ア 町内人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,600
			実績	12,625	12,497	12,351		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習活動を実施してもらう	ア 主催講座の数	講座	目標	15	15	15	15	15
			実績	7	15	15		
			達成率	46.7%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	イ 主催講座の参加者数	人	目標	800	500	300	300	300
			実績	73	283	250		
			達成率	9.1%	56.6%	83.3%		83.3%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 広報・募集	ア 広報回数	回	目標	3	3	3	3	3
			実績	5	3	4		
			達成率	166.7%	100.0%	133.3%		133.3%
イ 講師打合せ	イ 打合せ回数	回	目標	15	15	15	15	15
			実績	15	15	15		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		大 06	中 01	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		06	01	社会教育学級開設費					05950
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財	657	960	802	802	802	-158	その他特財	294	282	429	802	802	147			
一般財源	416	140	1,146	1,359	1,359	1,006	一般財源	511	583	1,101	1,359	1,359	518			
合計	1,073	1,100	1,948	2,161	2,161	848	合計(A)	805	865	1,530	2,161	2,161	665			
財源名称	生涯学習推進基金繰入金						従事正職員人数		2	2	2	2	2			
	社会教育学級受講料						延べ業務事務時間		150	150	150	150	150			
							人件費計(千円)(B)		501	503	513	504	504	11		
	最終予算額		1,948 千円		予算執行率		78.5%		トータルコスト(A+B)		1,306	1,368	2,043	2,665	2,665	676

事業番号	05950	事務事業名	社会教育学級開設費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
学習ニーズが変化しており、以前は人気だった講座へも申込が少ない状況が生じている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
全講座ではないが、講座受講生へアンケートを実施してニーズ把握に務めている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
歴史系の講座の開催を増加してほしいとの要望が寄せられている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 青年層向けの講座について申込者が少ない。講座内容等の見直しが必要。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 子供や若者には生涯学習をはじめのきっかけになり、高齢者には同じ趣味や学習のコミュニティづくりになる為、公共関与の妥当性がある。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 全ての世代の町民が生涯学習に参加するきっかけとして公民館講座を実施するものであり、対象・意図共に妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 町民の学習ニーズに応じた講座の開設を検討する必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 廃止・休止した場合、住民の社会教育へ参加する機会や生涯学習活動の機会が失われる。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 他の部署と連携して講座を開設すれば、受講者層の間口を広げることができる。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 3年以上経過した主催講座で、受講生の確保ができるものについては、講師謝金を受講生が負担し、自主運営する自主講座へ転換するよう推奨している。ただし、公民館使用料は無料。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 一人で担当している業務が複数あり、現状以上の業務時間短縮は不可能。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 幅広い年齢層を対象とした講座を実施している。また、講座案内・申込書を広報誌へ折り込み、全世帯へ配布しており、公平である。また、受講料も徴収をしている。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	青年層の参加が少ない。 住民の最新の学習ニーズの把握が必要となる。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 各世代での学習ニーズの把握を行い、適切な講座開設を目指す必要がある。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
青年層向けに広報周知を広く行う必要がある。																									

事業番号	事務事業名	シニアスクール推進事業費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
05975	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	おおむね50歳以上の町民が鏡野中学校で週1回(火曜日)、国語・社会・保健体育・美術などの教科を学ぶ。主な事務としては、①カリキュラムの作成、②講師の手配、③学校との連絡調整、④担任事務等がある。	平成14年度に鏡野中学校建設検討委員会で、新校舎には地域の人が出入りでき、集まることができる部屋を設けてほしいとの声が出たことがきっかけとなる。その頃、岡山市岡輝中学校のシニアスクールを知り、町教育委員会が先進地視察を行い検討した結果、鏡野中学校を会場に平成16年8月30

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 50歳以上の自力通学可能な町民	ア 50歳以上の町民人口	人	見込	7,200	7,200	7,000	7,000	7,000
			実績	6,947	6,827	6,793		
イ 鏡野中学校の生徒	イ 鏡野中学校生徒数	人	見込	313	313	343	350	350
			実績	313	313	343		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 高齢者にも学習してもらおう	ア 通学している人数	人	目標	15	15	0	15	15
			実績	12	12	0		
			達成率	80.0%	80.0%	#DIV/0!		0.0%
イ 生徒に学ぶ姿勢を育ててもらおう	イ 鏡野中学校生徒数	人	目標	313	313	343	350	350
			実績	313	313	3		
			達成率	100.0%	100.0%	0.9%		0.9%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア カリキュラムの作成	ア カリキュラムの作成件数	回	目標	90	90	0	90	90
			実績	62	2	0		
			達成率	68.9%	2.2%	#DIV/0!		0.0%
イ 学校との連絡調整	イ 学校との連絡調整回数	回	目標	10	10	0	10	10
			実績	16	3	1		
			達成率	160.0%	30.0%	#DIV/0!		10.0%
ウ 講師の手配	ウ 手配した講師の人数(実人数)	人	目標	16	16	0	15	15
			実績	14	15	0		
			達成率	87.5%	93.8%	#DIV/0!		0.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらおう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		シニアスクール推進事業費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	05975		
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町 債						町 債									
その他特財	541	46		45	45	-46	その他特財	436			45	45			
一般財源				355	355		一般財源		28		355	355	-28		
合計	541	46		400	400	-46	合計(A)	436	28		400	400	-28		
財源名称	生涯学習課基金繰入金					従事正職員人数	1	1	1	2	2				
	シニアスクール受講料					延べ業務事務時間	290	30		300	300	-30			
						人件費計(千円)(B)	969	101		1,009	1,009	-101			
	最終予算額		0 千円	予算執行率			トータルコスト(A+B)	1,405	129		1,409	1,409	-129		

1枚目

事業番号	05975	事務事業名	シニアスクール推進事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	--------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
R4は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休校となった。また、鏡野中学校から今後のシニアスクール受入について不可能との回答があった。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
開設後は週2回授業を実施していたが、現在では時間数を増やした週1回で行っている。希望者多数の場合、入学選考基準を設けた。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
シニアスクール生からは「休校になったのは残念だが仕方ない」や「工夫してまたシニアスクールを開催してほしい」といった意見が多く聞かれる。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 50歳以上の住民を対象とした事業で、入学許可選考基準など平等に生涯学習の機会を提供しており、政策体系の生涯学習の推進に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 シニア世代の学びの場を提供していくことは生涯学習の推進にも繋がる為、町が実施していくことの妥当性は適当と考える。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 当初の目的からいえば適切であるとする。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 目的水準には達している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 廃止した場合、高齢者の学びの場を提供出来ない等の影響が生じてくる。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 鏡野中学校より今後のシニアスクール受け入れについて不可能との回答があった為、今後は公民館講座として実施していく方法をとる。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 生徒からの受講料を経費の一部に充てており、節約しながら実施している為、これ以上の経費削減の余地はないと考える。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 今後公民館講座として実施していく予定の為、職員の対応は必要と考える。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 町内全域に広報で募集をかけており、公平・公正に対応できている。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり		今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から昨年度に引き続き休校となった。中学校側の受け入れ不可能との回答もふまえると、今後同じような形態での実施は難しいと思われる。次年度は公民館講座として実施をする予定としている為、実施状況・成果を踏まえて今後の事業継続の可否について検討していきたい。																							
B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																									
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																									
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																									
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 中学校施設が利用出来ないとすると実施内容・場所等を変更する必要がある。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
実施場所(施設)の確保、講師の高齢化等も問題となってくる為、新たな講師確保も検討していく必要がある。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	苦田郡PTA連合会補助金	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
05980	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町補助金交付規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	鏡野町PTA協議会への補助金交付事務	平成17年の合併により、苦田郡PTA連合会を解散して、鏡野町PTA協議会を設立。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 鏡野町PTA協議会	ア PTA会員数	人	見込	859	1,000	950	950	950
			実績	1,085	907	890		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア PTA活動を活発にする	ア PTA活動回数	回	目標	39	20	20	20	20
			実績	18	9	15		
			達成率	46.2%	45.0%	75.0%		75.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 補助金交付	ア 補助金交付回数	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		苦田郡PTA連合会補助金						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源		250	250	200	200	一般財源		250	250	200	200				
合計		250	250	200	200	合計(A)		250	250	200	200		0		
財源名称	従事正職員人数							1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間							5	8	8	8	8			
	人件費計(千円)(B)							17	27	27	27	27	1		
	最終予算額		250 千円	予算執行率		100.0%	トータルコスト(A+B)		17	277	277	227	227	1	

事業番号	05980	事務事業名	苫田郡PTA連合会補助金	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	--------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
会員は減っているが、研修会を実施するなど活動は活発である。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
協議会は厳正に運営されている上、補助金交付事務は短時間で処理できるので、改善改革の必要はない。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
活動実績に対して補助金額が多いのではないかという意見がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	子ども達の健やかな成長のため、保護者と教職員を支援することは、生涯学習の推進や青少年の健全育成に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	義務教育下にある小中学校のPTAを支援することについて、公共関与は妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	町内の全小中学校が協議会へ加盟しており、PTAへの支援は妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	研修や自主活動等が行われている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	研修の参加に支障が生じる。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	改善の必要性はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	支出の多くが研修費や研修参加の為の旅費であり、削減の余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	補助金交付事務は比較的短時間で処理が出来ており、これ以上の削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	町内の全小中学校が協議会へ加盟している為、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	補助金を活用して、自主的な活動が出来ている。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 PTA活動の一層の進展を期待する。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								

事業番号	事務事業名	鏡野町文化協会補助金	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
05984	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町補助金交付規則・鏡野町文化協会規約		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	①補助金交付事務 ②年1回総会を開催 ③五月祭り・文化祭・文芸選奨などの事業を計画・実施 ④隔月に「鏡野文化」を発行 ⑤隔年に「棕の葉」を発行	地域文化の継承を目的に、昭和44年創設。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 文化協会会員	ア 会員数	人	見込	340	340	320	320	320
			実績	357	323	283		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 文化活動を充実させる	ア 行事・会議等の実施回数	回	目標	10	10	10	10	10
			実績	5	5	15		
			達成率	50.0%	50.0%	150.0%		150.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 補助金の交付	ア 補助金の交付回数	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ 総会・五月祭りの実施	イ 総会・五月祭りの実施回数	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	0	0	0		
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%
ウ 文化祭の実施	ウ 文化祭の実施回数	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	0	0	1		
			達成率	0.0%	0.0%	100.0%		100.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		事業 11		中事業 05		予算上の事業名		事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費						鏡野町文化協会補助金		05984
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	450	450	450	450	450		一般財源	450	450	450	450	450			
合計	450	450	450	450	450		合計(A)	450	450	450	450	450			
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						800	800	800	800	800				
	人件費計(千円)(B)						2,674	2,680	2,737	2,690	2,690		57		
	最終予算額 450 千円						予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)	3,124	3,130	3,187	3,140	3,140	57

事業番号	05984	事務事業名	鏡野町文化協会補助金	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
新型コロナウイルス感染症の影響や会員の高齢化が進み、会員が減少傾向にある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
会員数を増加させる為に、文化協会加入の為に広報活動を行っている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
会員は日頃の活動の成果を発表する場として文化祭を楽しみにしており、その為に日々の政策や研究活動、練習に励んでいる。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	各々が自主的な活動をして、生涯学習の推進に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	地域文化の発展に役立っており、町の関与は妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	文化協会へは、大人から子どもまで誰でも加入することが出来る為、対象も意図も妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	高齢化により会員数が減少傾向である為、会員増加の為に積極的な広報や魅力的な活動を実施する必要があると考える。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	会員数の減少により会費だけでは協会運営が出来ない状態となっている為、補助事業が廃止された場合、文化協会としての活動が出来ない状況となる。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	会員に協会を自主運営していただく方法もあるが現実的ではないと考える。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	これ以上補助金を減額すると協会運営が出来なくなり、会費増額等の措置をとることになる。そうなれば会員のさらなる減少を誘発する可能性が高い。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	現状を考慮すると会員による協会の自主運営は不可能である。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	文化協会へは、大人から子どもまで誰でも加入することが出来る為、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	会員の高齢化が進み、部員数の減少、部の休止等もあったが、新しい部の設立や休止している部の活動復帰等もあり徐々にではあるが活動の活性化がみられている。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 文化祭以外での活動の場を増やし、コンクールや展覧会への出品、また施設等の慰問等を行い、また会報や鏡野文化等の誌面をリニューアルする等して文化協会の活動を周知し会員を増やす。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
会員の高齢化により活動範囲が狭まってきている為、活動形態を変えていくことも検討課題の一つと考える。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	鏡野町婦人協議会補助金	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
05985	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町婦人協議会補助金		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	鏡野町婦人協議会への補助金交付事務	明治・大正時代に行政指導により、全国的に婦人会がつくられ、戦後に組織が民主化された。平成17年に旧町村の婦人会を統合して、鏡野町婦人協議会が発足。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 鏡野町婦人協議会	ア 会員数	名	見込	82	79	77	77	77
			実績	79	77	72		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 婦人協議会の活動を充実させる	ア 婦人協議会関係の事業への参加回数	回	目標	20	20	20	20	20
			実績	10	16	17		
			達成率	50.0%	80.0%	85.0%		85.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 補助金交付事務	ア 補助金交付回数	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		11	06	鏡野町婦人協議会補助金					05985
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	500	500	500	400	400		一般財源	500	500	500	400	400				
合計	500	500	500	400	400		合計(A)	500	500	500	400	400	0			
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1				
							延べ業務事務時間	20	25	25	25	25				
							人件費計(千円)(B)	67	84	86	84	84	2			
	最終予算額	500 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)			567	584	586	484	484	2			

1枚目

事業番号	05985	事務事業名	鏡野町婦人協議会補助金	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成17年の町婦人協議会発足時の会員203名が72名に減少。県婦人協議会を平成24年に脱退。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
合併当初、補助金減額の動きがあった。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
行政や議会関係者は、婦人協議会の活動に期待している。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 婦人協議会の活動支援は、生涯学習の推進と結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 新型コロナウイルス感染症拡大予防の影響により参加予定だった行事等が中止となった場合もあったが、地域公共交通会議、有線テレビ放送番組審議会などに参加、協力しており公共関与の妥当性がある。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	理由説明 会員の大半が子育てを終えた人や退職者で、年齢層に偏りがある。会員のいる地区も偏っている。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 若い層が参加すれば、活動の幅が広がる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 補助金交付事務自体には、改善の余地はない。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 補助金交付事務自体には、改善の余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 補助金交付事務だけであり、削減余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 補助金交付事務だけであり、削減余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 鏡野町婦人協議会を構成しているのは、郷・上齋原・富地区の3つの婦人会である。これら以外の婦人会はすでに解散している。	

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	活動はそれぞれ行っているが、会員が高齢化しており、また、地域も偏っているため会員が減少増加が見込めない。																						
B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<p style="text-align: center;">今後の改革改善案</p> <p style="text-align: center;">地域での啓蒙活動を行い、新規会員の獲得に努める。</p>																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
若い人にも受け入れられる婦人会の体制作りを継続して行っていく必要がある。																							

事業番号	事務事業名	生涯学習推進事業費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06020	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日下 隆春
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	生涯学習施設(ペスタロッツ館)を使って、乳幼児から高齢者までニーズに合わせた各種行事(コンサートやイベント等)を実施する。 映画会 体験講座1回 を実施した。 Okutu芸術祭への補助	ペスタロッツ館の自主事業として開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,600
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に取り組むきっかけとしてもらう	ア ペスタロッツ館事業の参加者数	人	目標	200	200	100	400	400
			実績	0	197	97		
			達成率	0.0%	98.5%	97.0%		24.3%
イ	イ OKUTSU芸術祭への補助金交付	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 出演依頼	ア コン서트等開催日数	日	目標	0	2	2	5	5
			実績	0	2	2		
			達成率	—	100.0%	100.0%		40.0%
イ チラシの作成	イ チラシの作成枚数	枚	目標	0	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績	0	2,000	1,000		
			達成率	—	100.0%	50.0%		50.0%
ウ 補助金支払事務	ウ 補助金の支払先	回	目標	0	1	1	1	1
			実績	0	1	1		
			達成率	—	100.0%	100.0%		100.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		大 16		中 01		予算上の事業名		事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費						生涯学習推進事業費		06020
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財		12		85	85	-12	その他特財		16	10	85	85	-6		
一般財源		628	770	1,365	1,365	142	一般財源		547	583	1,365	1,365	36		
合計		640	770	1,450	1,450	130	合計(A)		563	593	1,450	1,450	30		
財源名称	ペスタロッツ館イベント入場料						従事正職員人数	2	2	2	2	2			
							延べ業務事務時間		450	200	450	450	-250		
							人件費計(千円)(B)		1,508	684	1,513	1,513	-823		
	最終予算額	770 千円	予算執行率	77.0%	トータルコスト(A+B)				2,071	1,277	2,963	2,963	-793		

1枚目

事業番号	06020	事務事業名	生涯学習推進事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
コロナウイルス感染症拡大防止措置が緩和されつつあり、イベントの実施が可能となってきた。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
新型コロナ感染拡大防止措置により、コンサートや合唱など声を発するイベントは控え、体験講座や映画会などを実施した。。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
映画会・体験講座は好評だった。以前から行っていたミュージックフェスティバルの開催を望む声がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 大人も子どもと一緒に学べる場の提供ができています。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 町の施設を利用して行政が実施することで経費を抑えられている。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適切である	理由説明 全ての年代の町民を対象にしており、妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 イベントの内容、実施時期の検討で参加者の増加の余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 ペスタロッツ館で行う他の事業が無く、生涯学習の機会が失われる。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 内容、時期、広報の工夫で参加者を増やす事ができる。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 今年度は全事業を職員自らが行ったので、削減余地はない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 最少人数で行っている。削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 町民全てを対象としている。公平である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	密を避ける工夫と急な中止にも対応できるように、職員で準備できる範囲の催しであったが、それなりの参加者があった。 映画上映はしたが、音楽ホールとしての催しができなかった。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 町民参加型のアマチュアフェスティバルには、開催の要望があるが、OKUTSU芸術祭でも類似の事業を行っているためそちらに任せることも検討できる。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
同じイベント内容を継続することの必要性の再検討																									

事業番号	事務事業名	文芸選奨推進事業費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06030	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町補助金交付規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・募集要項決定 ・審査員依頼 ・募集要項印刷 ・募集要項配布 ・作品審査 ・作品集作成 ・表彰式	平成9年度に香々美川が「岡山の清流」に選ばれ、これを機に香々美川文芸選奨を始めた。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町内の小中学生	ア 町内の小中学生数	人	見込	972	972	967	967	960
			実績	972	971	967		
イ 町内の成人	イ 町内の成人数	人	見込	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800
			実績	10,573	10,461	10,514		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 青少年が文芸に興味を持つようになる	ア 万葉のみち青少年文芸選奨の応募者数	人	目標	480	480	480	480	480
			実績	526	491	559		
			達成率	109.6%	102.3%	116.5%		116.5%
イ 町民が文芸に興味を持つようになる	イ 香々美川文芸選奨の応募者数	人	目標	100	100	100	100	100
			実績	102	100	115		
			達成率	102.0%	100.0%	115.0%		115.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 作品募集	ア 要項配布・広報回数	回	目標	3	3	3	3	3
			実績	3	3	3		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ 審査会	イ 審査会開催数	回	目標	2	2	2	2	2
			実績	2	2	2		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
ウ 作品集作成	ウ 作品集配布冊数	冊	目標	400	400	300	300	300
			実績	301	305	305		
			達成率	75.3%	76.3%	101.7%		101.7%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		大 18		中 01		予算上の事業名		事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費				文芸選奨推進事業費		06030		
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財	120	120	100	100	100	-20	その他特財	115	112	115	100	100	3		
一般財源	667	607	637	663	663	30	一般財源	624	548	614	663	663	66		
合計	787	727	737	763	763	10	合計(A)	739	660	729	763	763	69		
財源名称	香々美川文芸選奨応募料						従事正職員人数	1	1	1	1	1	1		
							延べ業務事務時間	170	170	170	170	170	170		
							人件費計(千円)(B)	568	570	582	572	572	12		
	最終予算額		737 千円	予算執行率	98.9%		トータルコスト(A+B)	1,307	1,230	1,311	1,335	1,335	81		

事業番号	06030	事務事業名	文芸選奨推進事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
学校の協力により、鏡野万葉のみち青少年文芸選奨の応募者が増えているが、先生によって応募数の変動がある。多くの学校では夏休みの宿題に取り入れている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
小中学校の国語の先生に指導をお願いしている。短歌・俳句・川柳の結社にお願いして募集要項を配布してもらっている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
町内の文芸愛好者は事業の継続を望んでいる。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 生涯学習の推進と地域文化の継承に必要である。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 創造豊かな教育と文化の里づくりのために、町民の誰もが参加できる事業としてふさわしい。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 小学生から高齢者まで、すべての年齢層を対象にしており、適切である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 万葉のみち青少年文芸選奨は小中学校の協力が必要。香々美川文芸選奨は町内の応募者が減少傾向。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 鏡野町は、短歌・俳句・川柳といった文芸の盛んな町であり、地域の文化的な特徴を若い世代に継承してもらおう働きかける唯一の事業である。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 若い世代の文芸愛好者を増やすこと。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 審査員報酬、賞金・副賞等についても他団体よりも安価で行っている為、これ以上の削減は難しい。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 香々美川・青少年万葉のみちの両方を合わせるとかなりの応募数となり、事務処理に膨大な時間と労力が必要である。これ以上の削減は不可能である。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 香々美川文芸選奨の応募者からは、投句料も徴収しており公平である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	万葉のみち青少年文芸選奨の応募は増加しているが、香々美川文芸選奨の町内の応募者が少ない。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 香々美川文芸選奨の町内からの応募者を文化協会を通じて増やしていく。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
応募している者は毎年応募していて新規応募者が減少傾向にある。																									

事業番号	事務事業名	公民館共通経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06252	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	町内公民館の共通管理費・・・公民館職員保険・旅費・館報の印刷経費などの共通経費	

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地区館	ア 館長	人	見込	12	12	12	12	12
			実績	12	12	12		
イ 町内住民	イ 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地域に根差した館報づくり	ア 毎月発行館報の充実	回	目標	12	12	12	12	12
			実績	12	12	12		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ 地区館の活動助成	イ 地区内活動の助成	回	目標	12	12	12	12	12
			実績	12	12	12		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地区館報のとりまとめ	ア 館報原稿の回収・配布・連絡等	回	目標	12	12	12	12	12
			実績	12	12	12		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ 支払い事務	イ 支払い件数	回	目標	12	12	12	12	12
			実績	12	12	12		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 06 社会教育費		目 02 公民館費		予算上の事業名 公民館共通経常管理費						事業番号 06252
	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財	50	50	2,050	2,050	2,050	2,000	その他特財	228	368	225	2,050	2,050	-143		
一般財源	3,331	3,020	1,754	1,638	1,638	-1,266	一般財源	2,738	2,530	3,499	1,638	1,638	969		
合計	3,381	3,070	3,804	3,688	3,688	734	合計(A)	2,966	2,898	3,724	3,688	3,688	826		
財源名称	地区公民館雑入						従事正職員人数	1	1	1	1	1			
							延べ業務事務時間	20	20	20	20	20			
							人件費計(千円)(B)	67	67	68	67	67	1		
	最終予算額		3,804 千円		予算執行率	97.8%		トータルコスト(A+B)	3,033	2,965	3,792	3,755	3,755	827	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	地区公民館の管理運営の充実のため、現状維持が望ましい
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	中央公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06254	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町公民館設置条例、鏡野町公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営: 貸館(自主講座含む)、収納事務 管理: 施設安全維持のため定期保守点検(委託) 経常管理費予算執行等の事務	戦後改革の時代にすべての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養期間として公民館が設置された。1949年(昭和24年)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町内住民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ	イ	人	見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標	34	32	33	19	19
			実績	27	27	27		
			達成率	79.4%	84.4%	81.8%		142.1%
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標	3,000	2,000	2,000	3,000	3,000
			実績	2,672	1,728	2,362		
			達成率	89.1%	86.4%	118.1%		78.7%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 公民館運営・地区館運営	ア 公民館運営委員会開催(書面開催含む)	回	目標	2	2	2	2	2
			実績	1	1	1		
			達成率	50.0%	50.0%	50.0%		50.0%
イ	イ 公民館利用者総数	人	目標	22,000	22,000	22,000	25,000	25,000
			実績	20,072	24,663	25,707		
			達成率	91.2%	112.1%	116.9%		102.8%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		中央公民館経常管理費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	06254		
実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	505	505	505	505	505	その他特財	392	582	557	505	505	-25			
一般財源	12,982	14,952	16,132	16,414	16,414	1,180	一般財源	11,878	13,914	14,330	16,414	16,414	416		
合計	13,487	15,457	16,637	16,919	16,919	1,180	合計(A)	12,270	14,496	14,887	16,919	16,919	391		
財源名称	鏡野公民館使用料					従事正職員人数	3	3	3	3	3				
	中央公民館雑入					延べ業務事務時間	594	594	594	594	594				
						人件費計(千円)(B)	1,986	1,990	2,032	1,997	1,997	42			
	最終予算額		16,637 千円	予算執行率	89.4%		トータルコスト(A+B)	14,256	16,486	16,919	18,916	18,916	433		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	施設維持管理は必要最小限の費用を計上しており削減の余地はない。利用しやすい環境を整え、ニーズを把握し講座開設に生かす必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	中央公民館臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06255	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日下 隆春
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町公民館設置条例、鏡野町公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	歴史資料館除却にかかる基礎調査 ダクト改修 防火ダンパー改修 污水配管修繕	歴史資料館建物を令和6年度に除却することが決定したこと、中央公民館の設備が老朽化等により、修繕の必要性が生じたため

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 中央公民館建物	ア 建物の数	棟	見込 実績	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 快適に施設を利用してもらう	ア 施設の不具合件数	件	目標 実績 達成率			0 3 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 工事にかかる設計委託を行う	ア 委託件数	件	目標 実績 達成率			1 1 100.0%	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!
イ 工事を行う	イ 工事件数	件	目標 実績 達成率			3 3 100.0%	0 0 #DIV/0!	0 0 #DIV/0!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 06 社会教育費		目 02 公民館費		予算上の事業名 中央公民館臨時管理費						事業番号
	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源			2,765			2,765	一般財源			2,764			2,764		
合計			2,765			2,765	合計(A)			2,764			2,764		
財源名称							従事正職員人数			2			2		
							延べ業務事務時間			200			200		
							人件費計(千円)(B)			684			684		
	最終予算額	2,765 千円		予算執行率	99.9%		トータルコスト(A+B)			3,448			3,448		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	改修工事を行うことで施設の長寿命化につながる。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	芳野公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06256	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で 補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地区住民	→ ア 地区住民人口	人	見込	2,780	2,780	2,780	2,780	2,780
イ	→ イ		実績	2,756	2,759	2,794		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	→ ア 公民館で開催する講座数	講座	目標	13	13	13	13	13
			実績	11	13	15		
			達成率	84.6%	100.0%	115.4%		115.4%
イ 豊かで充実した生活を送ってもら	→ イ 講座受講者数	人	目標	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
			実績	3,947	4,966	3,091		
			達成率	98.7%	124.2%	77.3%		77.3%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 公民館運営・維持管理	→ ア 公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	→ イ 公民館利用者総数	人	目標	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
			実績	4,441	5,333	3,338		
			達成率	88.8%	106.7%	66.8%		66.8%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	→ ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	→ イ
ウ	→ ウ
エ	→ エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		芳野公民館経常管理費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	06256		
実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	1,408	1,624	1,505	1,408	1,408	-119	一般財源	1,117	1,377	1,306	1,408	1,408	-71		
合計	1,408	1,624	1,505	1,408	1,408	-119	合計(A)	1,117	1,377	1,306	1,408	1,408	-71		
財源名称	従事正職員人数		1		1		1		1		1				
	延べ業務事務時間		1,450		1,450		1,450		1,450		1,450				
	人件費計(千円)(B)		4,847		4,858		4,960		4,875		4,875		103		
	最終予算額	1,505 千円	予算執行率	86.7%		トータルコスト(A+B)		5,964	6,235	6,266	6,283	6,283	32		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	芳野地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	芳野公民館臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06257	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R3 年度 ~ R4 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	令和3年度:改修工事に伴う工事設計委託 令和4年度:改修工事	昭和61年度に整備した芳野公民館も築35年が経過し老朽化が目立つようになり、地域住民の利便性も踏まえ改修を行う。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 住民	→	ア 地区住民人口	人	見込	2,780	2,780	2,780	2,780	2,780
イ	→	イ		実績	2,756	2,759	2,794		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	→	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標	13	13	13	13	13
イ 豊かで充実した生活を送ってもらおう	→	イ 講座受講者数	人	実績	11	13	15		115.4%
				達成率	84.6%	100.0%	115.4%		
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 委託契約	→	ア 委託数	件	目標		1	1		
イ	→	イ		実績		1	1		
				達成率		100.0%	100.0%		#DIV/0!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		芳野公民館臨時管理費						
	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比		
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込			
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源		2,530	48,658			46,128	一般財源		2,530	46,318			43,788		
合計		2,530	48,658			46,128	合計(A)		2,530	46,318			43,788		
財源名称	従事正職員人数								1	1					
	延べ業務事務時間								200	200					
	人件費計(千円)(B)								670	684			14		
	最終予算額		48,658 千円		予算執行率		95.1%		トータルコスト(A+B)		3,200		47,002		43,802

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	芳野公民館の大規模改修が実施され、芳野地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設として維持することが可能となった。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	大野公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06258	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650
			実績	2,604	2,629	2,609		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標	21	20	20	20	20
			実績	21	20	17		
			達成率	100.0%	100.0%	85.0%		85.0%
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標	11,000	10,000	10,000	10,000	10,000
			実績	8,088	7,101	7,649		
			達成率	73.5%	71.0%	76.5%		76.5%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 公民館運営・維持管理	ア 公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	イ 公民館利用者総数	人	目標	11,000	11,000	11,000	12,000	12,000
			実績	11,434	10,204	12,116		
			達成率	103.9%	92.8%	110.1%		101.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名						事業番号		
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		大野公民館経常管理費								
									01	15							
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債							町債										
その他特財							その他特財										
一般財源	1,628	3,343	1,741	1,715	1,715	-1,602	一般財源	1,378	3,226	1,718	1,715	1,715	-1,508				
合計	1,628	3,343	1,741	1,715	1,715	-1,602	合計(A)	1,378	3,226	1,718	1,715	1,715	-1,508				
財源名称	従事正職員人数							1	1	1	1	1					
	延べ業務事務時間							1,450	1,450	1,450	1,450	1,450					
	人件費計(千円)(B)							4,847	4,858	4,960	4,875	4,875	103				
	最終予算額		1,741 千円		予算執行率		98.6%		トータルコスト(A+B)		6,225	8,084	6,678	6,590	6,590	-1,405	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	大野地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため、今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	小田公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06260	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	1,500 1,442	1,500 1,419	1,500 1,385	1,500	1,500
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標 実績 達成率	17 17 100.0%	17 17 100.0%	17 17 100.0%	17	17
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標 実績 達成率	3,000 4,319 144.0%	2,500 2,448 97.9%	2,500 4,467 178.7%	5,000	5,000
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 公民館運営・維持管理	ア 公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
イ	イ 公民館利用者総数	人	目標 実績 達成率	6,000 5,605 93.4%	4,000 3,571 89.3%	4,000 6,180 154.5%	6,000	6,000

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名						事業番号	
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		小田公民館経常管理費							
									01	17						
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	1,343	1,827	1,538	1,370	1,370	-289	一般財源	1,343	1,639	1,414	1,370	1,370	-225			
合計	1,343	1,827	1,538	1,370	1,370	-289	合計(A)	1,343	1,639	1,414	1,370	1,370	-225			
財源名称	従事正職員人数							1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間							1,450	1,450	1,450	1,450	1,450				
	人件費計(千円)(B)							4,847	4,858	4,960	4,875	4,875	103			
	最終予算額		1,538 千円		予算執行率		91.9%		トータルコスト(A+B)		6,190	6,497	6,374	6,245	6,245	-122

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	小田地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	中谷公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06262	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で 補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的 教養を身に付ける文化教養機関として公民館が 設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定 され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	600 583	600 563	600 562	600	600
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標 実績 達成率	13 13 100.0%	13 13 100.0%	13 13 100.0%	13	13
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標 実績 達成率	2,000 1,734 86.7%	2,000 1,412 70.6%	2,000 1,332 66.6%	2,000	2,000
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 公民館運営・維持管理	ア 公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
イ	イ 公民館利用者総数	人	目標 実績 達成率	3,000 2,951 98.4%	2,000 1,827 91.4%	2,000 1,971 98.6%	2,200	2,200

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名						事業番号	
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		中谷公民館経常管理費							
									01	19						
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	1,747	3,148	1,616	1,565	1,565	-1,532	一般財源	1,343	2,890	1,413	1,565	1,565	-1,477			
合計	1,747	3,148	1,616	1,565	1,565	-1,532	合計(A)	1,343	2,890	1,413	1,565	1,565	-1,477			
財源名称	従事正職員人数							1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間							1,450	1,450	1,450	1,450	1,450				
	人件費計(千円)(B)							4,847	4,858	4,960	4,875	4,875	103			
	最終予算額	1,616 千円		予算執行率	87.4%		トータルコスト(A+B)	6,190	7,748	6,373	6,440	6,440	-1,374			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	中谷地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	香南公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06264	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	1,200 1,185	1,200 1,175	1,200 1,158	1,200	1,200
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標 実績 達成率	15 15 100.0%	16 16 100.0%	16 16 100.0%	16	16
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標 実績 達成率	2,200 1,726 78.5%	2,200 2,044 92.9%	2,200 2,591 117.8%	2,500	2,500

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 公民館運営・維持管理	ア 公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
イ	イ 公民館利用者総数	人	目標 実績 達成率	3,400 3,302 97.1%	3,600 3,548 98.6%	3,600 3,866 107.4%	4,000	4,000

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		香南公民館経常管理費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	2,072	2,082	1,744	1,360	1,360	-338	一般財源	1,966	2,028	1,557	1,360	1,360	-471		
合計	2,072	2,082	1,744	1,360	1,360	-338	合計(A)	1,966	2,028	1,557	1,360	1,360	-471		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間						1,450	1,450	1,450	1,450	1,450				
	人件費計(千円)(B)						4,847	4,858	4,960	4,875	4,875	103			
	最終予算額	1,744 千円		予算執行率	89.2%		トータルコスト(A+B)	6,813	6,886	6,517	6,235	6,235	-368		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	香南地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	香南公民館臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06265	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R4 年度 ~ R5 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	令和4年度:改修工事に伴う工事設計委託 令和5年度:改修工事	H5年度に完成した香南公民館は築29年が経過し、内外部の老朽化が進んでおり地域住民の利便性を踏まえ、R5年度に改修工事を行うため実施設計委託するもの。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 住民	ア 地区住民	人	見込	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績	1,185	1,175	1,158		
イ	イ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標	15	16	16	16	16
			実績	15	16	16		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標	2,200	2,200	2,200	2,500	2,500
			実績	1,726	2,044	2,591		
			達成率	78.5%	92.9%	117.8%		103.6%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 委託契約	ア 委託数	件	目標			1	1	
			実績			1		
			達成率			100.0%		#DIV/0!
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 款 10 項 06 目 02						中事業 01 22						事業番号
	一般会計 教育費 社会教育費 公民館費						香南公民館臨時管理費						
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比
国庫支出金				30,000			国庫支出金				30,000		
県支出金							県支出金						
町債							町債						
その他特財							その他特財			3,000			3,000
一般財源			3,901	31,375		3,901	一般財源			652	31,375		652
合計			3,901	61,375		3,901	合計(A)			3,652	61,375		3,652
財源名称							従事正職員人数			1	1		1
							延べ業務事務時間			200	200		200
							人件費計(千円)(B)			684	672		684
	最終予算額	3,901 千円		予算執行率	93.6%		トータルコスト(A+B)			4,336	62,047		4,336

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	香南地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設として維持する必要があり大規模改修が実施する。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	香北公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06266	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	450 434	450 422	450 412	450	450
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標 実績 達成率	8 8 100.0%	7 7 100.0%	7 7 100.0%	7	7
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標 実績 達成率	1,500 1,103 73.5%	1,600 1,266 79.1%	1,600 1,156 72.3%	1,600	1,600
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 公民館運営・維持管理	ア 公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
イ	イ 公民館利用者総数	人	目標 実績 達成率	2,000 1,947 97.4%	2,400 2,351 98.0%	2,400 2,625 109.4%	2,600	2,600

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 06 社会教育費		目 02 公民館費		予算上の事業名 香北公民館経常管理費						事業番号 06266
	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	1,246	1,448	1,846	1,798	1,798	398	一般財源	1,081	1,233	1,594	1,798	1,798	361		
合計	1,246	1,448	1,846	1,798	1,798	398	合計(A)	1,081	1,233	1,594	1,798	1,798	361		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						1,450	1,450	1,450	1,450	1,450				
	人件費計(千円)(B)						4,847	4,858	4,960	4,875	4,875	103			
	最終予算額	1,846 千円		予算執行率	86.3%		トータルコスト(A+B)	5,928	6,091	6,554	6,673	6,673	464		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	香北地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	郷公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06268	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で 補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	1,300 1,306	1,300 1,279	1,300 1,267	1,300	1,300
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標 実績 達成率	18 18 100.0%	19 19 100.0%	19 18 94.7%	19	19 94.7%
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標 実績 達成率	5,000 4,812 96.2%	5,000 3,143 62.9%	8,000 7,379 92.2%	9,000	9,000 82.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 公民館運営・維持管理	ア 公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ	イ 公民館利用者総数	人	目標 実績 達成率	6,000 5,841 97.4%	6,000 4,123 68.7%	9,000 9,253 102.8%	10,000	10,000 92.5%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		郷公民館経常管理費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	1,890	3,694	1,630	1,697	1,697	-2,064	一般財源	1,871	2,084	1,411	1,697	1,697	-673		
合計	1,890	3,694	1,630	1,697	1,697	-2,064	合計(A)	1,871	2,084	1,411	1,697	1,697	-673		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間						1,450	1,450	1,450	1,450	1,450				
	人件費計(千円)(B)						4,847	4,858	4,960	4,875	4,875	103			
	最終予算額	1,630 千円	予算執行率	86.5%		トータルコスト(A+B)		6,718	6,942	6,371	6,572	6,572	-570		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	郷地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	郷公民館臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06269	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	講座室照明LED化・空調改修	地域住民の利便性を踏まえ、講座室の照明のLED化を図り老朽化した空調の改修を行う。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地区住民	→	ア 地区住民人口	人	見込	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
イ	→	イ		実績	1,306	1,279	1,267		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	→	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標	18	19	19	19	19
イ 豊かで充実した生活を送ってもら	→	イ 講座受講者数	人	実績	18	19	18		94.7%
				達成率	100.0%	100.0%	94.7%		
				目標	5,000	5,000	8,000	9,000	9,000
				実績	4,812	3,143	7,379		
				達成率	96.2%	62.9%	92.2%		82.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 契約件数	→	ア 委託数	件	目標			2	0	0
イ	→	イ	人	実績			2		
				達成率			100.0%		#DIV/0!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		郷公民館臨時管理費						
	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比		
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込			
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源			2,065			2,065	一般財源			2,065			2,065		
合計			2,065			2,065	合計(A)			2,065			2,065		
財源名称	従事正職員人数										1			1	
	延べ業務事務時間										1,450			1,450	
	人件費計(千円)(B)										4,960			4,960	
	最終予算額	2,065 千円		予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)				7,025			7,025	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	郷地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため、改修したことで今後も維持可能となった。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	泉公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06270	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	400 403	400 385	400 372	400	400
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標 実績 達成率	15 15 100.0%	17 17 100.0%	14 14 100.0%	17	17 82.4%
イ 豊かで充実した生活を送ってもら	イ 講座受講者数	人	目標 実績 達成率	3,000 2,530 84.3%	1,500 1,644 109.6%	2,500 2,246 89.8%	2,500	2,500 89.8%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 公民館運営・維持管理	ア 公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ	イ 公民館利用者総数	人	目標 実績 達成率	3,300 3,302 100.1%	2,000 1,985 99.3%	3,000 2,695 89.8%	3,000	3,000 89.8%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		泉公民館経常管理費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町 債						町 債									
その他特財	90	5	2	15	15	-3	その他特財	13	6	33	15	15	27		
一般財源	2,463	2,012	1,903	2,035	2,035	-109	一般財源	1,861	1,588	792	2,035	2,035	-796		
合計	2,553	2,017	1,905	2,050	2,050	-112	合計(A)	1,874	1,594	825	2,050	2,050	-769		
財源名称	従事正職員人数							1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間							1,450	1,450	1,450	1,450	1,450			
	人件費計(千円)(B)							4,847	4,858	4,960	4,875	4,875	103		
	最終予算額		1,905 千円		予算執行率		43.3%		トータルコスト(A+B)		6,721	6,452	5,785	6,925	6,925

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	泉地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	羽出公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06272	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	350 345	350 329	350 314	350	350
イ	イ		見込 実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標 実績 達成率	10 10 100.0%	10 9 90.0%	9 9 100.0%	10	10 90.0%
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標 実績 達成率	1,000 995 99.5%	1,000 680 68.0%	1,000 967 96.7%	1,500	1,500 64.5%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 公民館運営・維持管理	ア 公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ	イ 公民館利用者総数	人	目標 実績 達成率	2,000 2,092 104.6%	2,000 1,780 89.0%	2,000 2,745 137.3%	3,000	3,000 91.5%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名						事業番号	
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		羽出公民館経常管理費							
									01	33						
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	1,431	2,158	1,498	1,415	1,415	-660	一般財源	1,105	1,814	1,297	1,415	1,415	-517			
合計	1,431	2,158	1,498	1,415	1,415	-660	合計(A)	1,105	1,814	1,297	1,415	1,415	-517			
財源名称	従事正職員人数							1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間							1,450	1,450	1,450	1,450	1,450				
	人件費計(千円)(B)							4,847	4,858	4,960	4,875	4,875	103			
	最終予算額		1,498 千円		予算執行率		86.5%		トータルコスト(A+B)		5,952	6,672	6,257	6,290	6,290	-414

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	羽出地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	奥津公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06274	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地区住民	→	ア 地区住民人口	人	見込	500	480	480	480	480
イ	→	イ		実績	482	475	461		
				見込					
				実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	→	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標	6	6	7	6	6
				実績	6	6	7		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%		116.7%
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	→	イ 講座受講者数	人	目標	900	900	900	900	900
				実績	635	608	804		
				達成率	70.6%	67.6%	89.3%		89.3%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 公民館運営・維持管理	→	ア 公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標	1	1	1	1	1
				実績	1	1	1		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	→	イ 公民館利用者総数	人	目標	1,100	1,100	1,100	1,100	1,100
				実績	1,093	1,079	1,285		
				達成率	99.4%	98.1%	116.8%		116.8%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 06 社会教育費		目 02 公民館費		予算上の事業名 奥津公民館経常管理費						事業番号 06274
	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	1,632	1,277	1,769	1,375	1,375	492	一般財源	1,559	1,133	1,655	1,375	1,375	522		
合計	1,632	1,277	1,769	1,375	1,375	492	合計(A)	1,559	1,133	1,655	1,375	1,375	522		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間						1,450	1,450	1,450	1,450	1,450				
	人件費計(千円)(B)						4,847	4,858	4,960	4,875	4,875	103			
	最終予算額	1,769 千円		予算執行率	93.5%		トータルコスト(A+B)	6,406	5,991	6,615	6,250	6,250	625		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	奥津地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06276	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	540 534	540 517	540 496	540	540
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標 実績 達成率	13 13 100.0%	14 14 100.0%	14 14 100.0%	14	14
イ 豊かで充実した生活を送ってもらおう	イ 講座受講者数	人	目標 実績 達成率	700 566 80.9%	700 511 73.0%	900 873 97.0%	1,000	1,000

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 公民館運営・維持管理	ア 公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
イ	イ 公民館利用者総数	人	目標 実績 達成率	800 649 81.1%	800 642 80.3%	1,000 1,091 109.1%	1,100	1,100

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 06 社会教育費		目 02 公民館費		予算上の事業名						事業番号
	01		10		06		02		上齋原公民館経常管理費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	06276		
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財						その他特財									
一般財源	1,414	1,356	1,228	1,234	1,234	-128	一般財源	605	816	809	1,234	1,234	-7		
合計	1,414	1,356	1,228	1,234	1,234	-128	合計(A)	605	816	809	1,234	1,234	-7		
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間						1,450	1,450	1,450	1,450	1,450				
	人件費計(千円)(B)						4,847	4,858	4,960	4,875	4,875	103			
	最終予算額		1,228 千円		予算執行率		65.8%		トータルコスト(A+B)		5,452	5,674	5,769	6,109	6,109

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
見直し余地がある	目標水準に達している	上齋原地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富公民館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06278	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営：貸館(自主講座含む)、主催講座、公民館報の発行、収納事務 ・管理：施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、 経常管理費予算執行等の事務 ・鏡野町の各部署の事業、業務の推進をする上で、住民に一番近い位置で補助的役割を担う。	戦後改革の時代に、全ての国民が豊かな文化的教養を身に付ける文化教養機関として公民館が設置された。1949年(昭24)社会教育法が制定され、全国に公民館が設置される始まりとなる。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	地区住民	→	ア	地区住民人口	人	見込 540 実績 534	550 545	550 528	550	550
イ		→	イ			見込 実績				
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	生涯学習に参加できる場所を提供する	→	ア	公民館で開催する講座数	講座	目標 12 実績 12 達成率 100.0%	11 11 100.0%	11 11 100.0%	11	11
イ	豊かで充実した生活を送ってもら	→	イ	講座受講者数	人	目標 2,000 実績 1,837 達成率 91.9%	2,000 1,669 83.5%	2,500 2,248 89.9%	2,500	2,500
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	公民館運営・維持管理	→	ア	公民館運営委員会開催回数(書面開催含む)	回	目標 1 実績 1 達成率 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1
イ		→	イ	公民館利用者総数	人	目標 2,550 実績 2,508 達成率 98.4%	2,600 2,567 98.7%	3,000 2,910 97.0%	3,000	3,000

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		01 款 教育費		10 項 社会教育費		06 目 公民館費		02 目 富公民館経常管理費						事業番号 06278
	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財	1	1	1	1	1		その他特財				1	1			
一般財源	2,483	3,164	2,551	2,583	2,583	-613	一般財源	2,038	2,524	2,249	2,583	2,583	-275		
合計	2,484	3,165	2,552	2,584	2,584	-613	合計(A)	2,038	2,524	2,249	2,584	2,584	-275		
財源名称	従事正職員人数							1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間							1,450	1,450	1,450	1,450	1,450			
	人件費計(千円)(B)							4,847	4,858	4,960	4,875	4,875	103		
	最終予算額		2,552 千円		予算執行率		88.1%		トータルコスト(A+B)		6,885	7,382	7,209	7,459	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	富地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富公民館臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06279	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	富公民館汚水管の改修工事。	富公民館汚水管が度々滞り、公民館利用の妨げになっていたため改修工事を行う。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	540 534	550 545	550 528	550	550
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標 実績 達成率	12 12 100.0%	11 11 100.0%	11 11 100.0%	11	11
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標 実績 達成率	2,000 1,837 91.9%	2,000 1,669 83.5%	2,500 2,248 89.9%	2,500	2,500

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 契約件数	ア 委託数	件	目標 実績 達成率			1 1 100.0%	1	1
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		01 款 教育費		10 項 社会教育費		06 目 公民館費		02 大事業 中事業 01 72 予算上の事業名 富公民館臨時管理費						06279 事業番号
	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町 債							町 債								
その他特財							その他特財								
一般財源			575			575	一般財源			574			574		
合計			575			575	合計(A)			574			574		
財源名称							従事正職員人数			1			1		
							延べ業務事務時間			56			56		
							人件費計(千円)(B)			192			192		
	最終予算額	575 千円		予算執行率	99.8%		トータルコスト(A+B)			766			766		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	富地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	香北公民館整備事業費			所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06296-0	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり			係名	担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32	生涯学習の推進			根拠法令等		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R2 年度 ~ R4 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	令和2年度:新築工事に伴う新築工事設計・地質調査・造成工事設計委託 令和3年度:用地取得に伴う登記委託・造成工事 令和3年度・4年度 新築工事 工事請負費・委託料(令和4年度へ繰越)	昭和57年度に整備した香北公民館も築39年を迎え老朽化が目立つようになり、高齢者率の高い地域住民の利便性も踏まえ新築を計画することとなったため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	住民	→	ア	人	見込	450	450	450	450	
イ		→	イ		実績	434	422	412		
					見込					
					実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	生涯学習に参加できる場所を提供する	→	ア	講座	目標	8	7	7	7	
					実績	8	7	7		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		#DIV/0!
イ	豊かで充実した生活を送ってもらう	→	イ	人	目標	1,500	1,600	1,600		
					実績	1,103	1,266	1,156		
					達成率	73.5%	79.1%	72.3%		#DIV/0!
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	委託契約	→	ア	件	目標	1	1	1		
					実績	1	1	1		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		#DIV/0!
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名						事業番号	
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		香北公民館整備事業費							
								51	55							06296-0
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債			32,000			32,000	町債			32,000			32,000			
その他特財							その他特財									
一般財源			11,067			11,067	一般財源			842			842			
合計			43,067			43,067	合計(A)			32,842			32,842			
財源名称							従事正職員人数			1			1			
							延べ業務事務時間			800			800			
							人件費計(千円)(B)			2,737			2,737			
	最終予算額	43,067 千円		予算執行率	76.2%		トータルコスト(A+B)			35,579			35,579			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	公民館機能の充実を図ることができ生涯学習活動・住民活動の拠点施設として今後も維持していくことが可能となった。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	香北公民館整備事業費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06296	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立公民館設置条例・鏡野町立公民館管理規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (2 年度~ 4 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	令和2年度:新築工事に伴う新築工事設計・地質調査・造成工事設計委託 令和3年度:用地取得に伴う登記委託・造成工事 令和3年度・4年度 新築工事 工事請負費・委託料(令和4年度へ繰越)	昭和57年度に整備した香北公民館も築39年を迎え老朽化が目立つようになり、高齢者率の高い地域住民の利便性も踏まえ新築を計画することとなったため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	住民	→	ア	人	見込	450	450	450		
					実績	434	422	1,267		
イ		→	イ		見込					
					実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	生涯学習に参加できる場所を提供する	→	ア	講座	目標	8	7	7		
					実績	8	7	7		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		#DIV/0!
イ	豊かで充実した生活を送ってもらう	→	イ	人	目標	1,500	1,600	1,600		
					実績	1,103	1,266	1,156		
					達成率	73.5%	79.1%	72.3%		#DIV/0!
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	委託契約	→	ア	件	目標	1	1	1		
					実績	1	1	1		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		#DIV/0!
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町民	ア	生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名						事業番号		
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		香北公民館整備事業費								
									51	55							
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債	6,000	113,000	70,000			-43,000	町債	6,000	81,000	70,000			-11,000				
その他特財							その他特財										
一般財源	1,500	13,998	11,474			-2,524	一般財源	1,227	1,877	10,437			8,560				
合計	7,500	126,998	81,474			-45,524	合計(A)	7,227	82,877	80,437			-2,440				
財源名称	従事正職員人数							1	1	1							
	延べ業務事務時間							400	800	800							
	人件費計(千円)(B)							1,337	2,680	2,737			57				
	最終予算額		81,474 千円		予算執行率		98.7%		トータルコスト(A+B)		8,564	85,557	83,174	-2,383			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	公民館機能の充実を図ることができ生涯学習活動・住民活動の拠点施設として今後も維持していくことが可能となった。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	泉公民館整備事業費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06297-0	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R2 年度 ~ R4 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	令和2年度:新築工事にかかる公告及び設計委託 令和3年度:用地取得・現泉公民館解体工事 令和3年度・4年度:新築工事・外構工事 工事請負費(令和4年度へ繰越)	昭和53年度に完成した泉公民館も築40年を超え、修繕が多数必要となってきた。それに加え、耐震診断では耐震の脆弱性も指摘があり、このことから利用地域住民の不便さの解消、安全性確保のため新築することとなったため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	400 403	400 385	400 372		
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 公民館で開催する講座数	講座	目標 実績 達成率	15 15 100.0%	17 17 100.0%	14 14 100.0%		#DIV/0!
イ 豊かで充実した生活を送ってもらう	イ 講座受講者数	人	目標 実績 達成率	3,000 2,530 84.3%	1,500 1,644 109.6%	2,500 2,246 89.8%		#DIV/0!

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 委託契約	ア 委託数	1	目標 実績 達成率		1 1 100.0%	1 1 100.0%		#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		泉公民館整備事業費						
	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比		
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込			
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債			44,000			44,000	町債			38,500			38,500		
その他特財							その他特財								
一般財源			377			377	一般財源			2,098			2,098		
合計			44,377			44,377	合計(A)			40,598			40,598		
財源名称							従事正職員人数			1			1		
							延べ業務事務時間			900			900		
							人件費計(千円)(B)			3,079			3,079		
	最終予算額	44,377 千円		予算執行率	91.4%		トータルコスト(A+B)			43,677			43,677		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	公民館機能の充実を図ることができ生涯学習活動・住民活動の拠点施設として今後も維持していくことが可能となった。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	泉公民館整備事業費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06297	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R2 年度 ~ R4 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	令和2年度:新築工事にかかる公告及び設計委託 令和3年度:用地取得・現泉公民館解体工事 令和3年度・4年度:新築工事・外構工事 工事請負費(令和4年度へ繰越)	昭和53年度に完成した泉公民館も築40年を超え、修繕が多数必要となってきた。それに加え、耐震診断では耐震の脆弱性も指摘があり、このことから利用地域住民の不便さの解消、安全性確保のため新築することとなったため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	地区住民	→	ア	人	見込	400	400	400		
					実績	403	385	372		
イ		→	イ		見込					
					実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	生涯学習に参加できる場所を提供する	→	ア	講座	目標	15	17	14		
					実績	15	17	14		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		#DIV/0!
イ	豊かで充実した生活を送ってもらう	→	イ	人	目標	3,000	1,500	2,500		
					実績	2,530	1,644	2,246		
					達成率	84.3%	109.6%	89.8%		#DIV/0!
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	委託契約	→	ア	1	目標	1	1	1		
					実績	1	1	1		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		#DIV/0!
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町民	ア	生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 02		予算上の事業名						事業番号		
	一般会計		教育費		社会教育費		公民館費		泉公民館整備事業費								
									51	56							
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債		155,700	106,300			-49,400	町債		100,200	83,400			-16,800				
その他特財							その他特財										
一般財源	13,347	7,575	5,310			-2,265	一般財源	11,926	18,057	25,420			7,363				
合計	13,347	163,275	111,610			-51,665	合計(A)	11,926	118,257	108,820			-9,437				
財源名称	従事正職員人数							1	1	1							
	延べ業務事務時間							400	800	900			100				
	人件費計(千円)(B)							1,337	2,680	3,079			399				
	最終予算額		111,610 千円		予算執行率		97.5%		トータルコスト(A+B)		13,263	120,937	111,899	-9,038			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	公民館機能の充実を図ることができ生涯学習活動・住民活動の拠点施設として今後も維持していくことが可能となった。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	ペスタロッツ館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06350	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日下 隆春
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町総合文化施設条例及び施行規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	ペスタロッツ館の維持・管理運営を行う。併せて、ホールなど設備の維持管理・保守点検、ピアノ調律・保守点検を行う。日常業務の中で維持管理・運営及び業者委託による保守点検。	平成15年に閉館したペスタロッツ館の管理運営を行うため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,600
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ	イ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 来館者数	人	目標	8,000	4,000	6,000	8,000	8,000
			実績	2,132	5,854	3,567		
			達成率	26.7%	146.4%	59.5%		44.6%
イ 快適に施設利用をしてもらう	イ 施設の不具合件数	件	目標	0	0	0	0	0
			実績	4	11	3		
			達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		#DIV/0!

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 設備の確認と保守点検の委託	ア 年間運営日数	日	目標	292	292	218	292	292
			実績	285	297	207		
			達成率	97.6%	101.7%	95.0%		70.9%
イ 照明など設備の点検	イ 保守点検項目	件	目標	20	20	20	20	20
			実績	20	20	20		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		ペスタロッツ館経常管理費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	06350		
実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込				
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財	385	665	455	455	455	-210	その他特財	600	864	894	455	455	30		
一般財源	22,997	19,371	25,742	23,287	23,287	6,371	一般財源	21,417	18,622	20,342	23,287	23,287	1,720		
合計	23,382	20,036	26,197	23,742	23,742	6,161	合計(A)	22,017	19,486	21,236	23,742	23,742	1,750		
財源名称	ペスタロッツ館使用料					従事正職員人数	2	2	2	2	2				
	ペスタロッツ館雑入					延べ業務事務時間	2,352	2,352	1,700	2,000	2,000	-652			
						人件費計(千円)(B)	7,863	7,879	5,816	6,724	6,724	-2,064			
	最終予算額		26,197 千円	予算執行率	81.0%		トータルコスト(A+B)	29,880	27,365	27,052	30,466	30,466	-314		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	令和4年度に大規模改修を行ったため、当分は大規模修繕は出てこないと思われる。また、全館LED照明に変更したため、光熱水費も抑えられると思われる。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	ペスタロッツ館臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06351	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	日下 隆春
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町総合文化施設条例及び施行規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ	空調設備機器、照明等の改修工事	平成14年に完成したペスタロッツ館は築20年が経過し、空調設備機器等の老朽化が進んでいたため、改修工事を行う。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 来館者数	人	目標	8,000	4,000	4,000	8,000	
			実績	2,132	5,854	3,567		
			達成率	26.7%	146.4%	89.2%		#DIV/0!
イ 快適に施設利用をしてもらう	イ 施設の不具合件数	件	目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 工事にかかる設計委託を行う	ア 委託数	件	目標		1	1	0	
			実績		1	1		
			達成率		100.0%	100.0%		#DIV/0!
イ 工事を行う	イ 工事件数		目標			1	0	
			実績			1		
			達成率			100.0%		#DIV/0!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 06 社会教育費		目 03 社会教育施設費		予算上の事業名						事業番号
	01		10		06		03		ペスタロッツ館臨時管理費						
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比			
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	(千円)	実績	実績	実績	見込	見込	実績			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町債						町債									
その他特財			189,879		189,879	その他特財									
一般財源		7,868			-7,868	一般財源		7,700	188,594			180,894			
合計		7,868	189,879		182,011	合計(A)		7,700	188,594			180,894			
財源名称	電源立地地域対策交付金				従事正職員人数			1	2			1			
					延べ業務事務時間			200	600			400			
					人件費計(千円)(B)			670	2,053			1,383			
	最終予算額		189,879 千円		予算執行率		99.3%		トータルコスト(A+B)		8,370		190,647	182,277	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	改修工事を行うことで施設の長寿命化につながる。また、空調機器の新調され、照明がLED化したことにより電気料金を抑えることができる。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	図書館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06353	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	担当者・シート作成者	福島 久美子
	施策名	32	生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立図書館条例及び同条例施行規則	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	住民の読書活動や情報収集を担う生涯学習施設として、住民の求める資料や情報の提供と紹介を行い、文化の高いまちづくりを推進する。資料の収集・管理、提供に係る事務の他、広報紙の発行を行う。また、学校等の町内団体と連携を取り、第1次鏡野町子ども読書活動推進計画に基づく読書環境整備や読書推進事業(ブックスタート、セカンドブック)を実施する。	平成15年3月、鏡野町立図書館が設置開館されたため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	鏡野町及び周辺市町村の住民	→	ア	人	見込	130,000	130,000	130,000	11,627	11,455
					実績	12,625	12,497	12,358		
イ	鏡野町内の勤務者及び町内の小中学生	→	イ	人	見込	12,400	11,900	12,000	12,000	12,000
					実績	11,615	11,884	12,144		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	生涯学習に参加できる場所を提供する	→	ア	人	目標	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
					実績	47,668	44,965	30,981		
					達成率	59.6%	56.2%	38.7%		38.7%
イ	快適な施設利用をしてもらう	→	イ	冊	目標	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000
					実績	108,529	119,246	87,527		
					達成率	77.5%	85.2%	62.5%		62.5%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	ブックスタートや団体貸出による乳幼児・子どもの読書活動の推進	→	ア	日	目標	290	290	290	290	290
					実績	278	288	288		
					達成率	95.9%	99.3%	99.3%		99.3%
イ	生涯学習の支援	→	イ	件	目標	10	10	10	10	10
					実績	49	6	14		
					達成率	490.0%	60.0%	140.0%		140.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町民	ア	生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名						事業番号						
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		図書館経常管理費												
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	06353								
実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込										
国庫支出金						国庫支出金															
県支出金	10,000	9,000	4,012	3,453	3,453	-4,988	県支出金	10,000		0	3,453	3,453									
町債							町債														
その他特財			10	10	10	10	その他特財		61	21	10	10	-40								
一般財源	7,523	5,090	10,357	10,310	10,310	5,267	一般財源	6,773	13,586	13,259	10,310	10,310	-327								
合計	17,523	14,090	14,379	13,773	13,773	289	合計(A)	16,773	13,647	13,280	13,773	13,773	-367								
財源名称	電源立地特別補助金				従事正職員人数			4	4	3	3	3	-1								
	図書館費雑入				延べ業務事務時間			1,300	1,300	1,300	1,300	1,300									
					人件費計(千円)(B)			4,346	4,355	4,447	4,371	4,371	92								
	最終予算額		14,379 千円		予算執行率		92.3%		トータルコスト(A+B)		21,119		18,002		17,727		18,144		18,144		-275

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	町民の求める情報を提供し、利用の促進を図る。地域の課題解決を支援するサービスを展開することによって、費用以上の効果につなげる。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	見直し余地がある	

事業番号	事務事業名	ほたる館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06357	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町ほたる館設置条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・ホタルの保護育成を図り、環境保護活動を推進し自然と共存する町づくりを推進する。 ・平成4年に「ホタルを育む会」を結成	平成14年に源氏ボタルの発生地として、保護活動を推進する施設を設置

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地区住民	→	ア 地区住民人口	人	見込	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
イ	→	イ		実績	1,306	1,279	1,267		
				見込					
				実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 源氏ボタルの保護活動	→	ア 河川清掃	団体	目標	2	2	2	2	2
イ	→	イ		実績	2	2	2		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
				目標					
				実績					
				達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 施設の維持管理・支払い	→	ア 支払い事務	回	目標	2	2	2	2	2
イ	→	イ		実績	2	2	2		
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
				目標					
				実績					
				達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名						事業番号		
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		ほたる館経常管理費								
									01	18							
2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比					
実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込						
国庫支出金						国庫支出金											
県支出金						県支出金											
町債						町債											
その他特財						その他特財											
一般財源	171	263	227	216	216	-36	一般財源	157	255	209	216	216	-46				
合計	171	263	227	216	216	-36	合計(A)	157	255	209	216	216	-46				
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1						
	延べ業務事務時間						2	2	2	2	2						
	人件費計(千円)(B)						7	7	7	7	7		0				
	最終予算額		227 千円	予算執行率		92.0%	トータルコスト(A+B)		164	262	216	223	223	-46			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
見直し余地がある	向上余地がある	保護活動拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	コミュニティハウス経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06361	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町コミュニティハウス設置条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	近衛コミュニティハウス及び極楽コミュニティハウスの維持管理。 近衛コミュニティハウスは、平成12年に近衛地区に管理委託し、管理委託料及び光熱水費の支払いを行う。 ・R2年度には、両方のコミュニティハウスの漏水工事実施 ・R3年度には、近衛の別館の屋根と雨樋工事実施 ・R3年度には、極楽寺のばっ気ブロワーベルト交換工事 ・R4年度には、極楽寺のばっ気ブロワーベルト交換工事実施	地域住民の生涯学習、文化活動の振興を図るため、鏡野町コミュニティハウスを設置 ・近衛コミュニティハウス(昭和58年3月建築) ・極楽コミュニティハウス(昭和54年3月建築)

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町内人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,600
イ	イ		実績	12,625	12,497	12,351		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 学習機会の提供と充実	ア 町内人口	人	目標	12,143	11,970	11,800	11,627	11,600
イ	イ		実績	12,625	12,497	12,351		
			達成率	104.0%	104.4%	104.7%		106.5%
			目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 管理委託料の支払	ア 管理委託料の支払回数	回	目標	1	1	1	1	1
イ 施設経常管理費の支払	イ 施設経常管理費の支払回数	回	実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
			目標	12	12	12	12	12
			実績	12	12	12		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名						事業番号		
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		コミュニティハウス経常管理費								
									01	22							
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債							町債										
その他特財							その他特財										
一般財源	1,125	893	1,302	1,037	1,037	409	一般財源	1,114	844	1,270	1,037	1,037	426				
合計	1,125	893	1,302	1,037	1,037	409	合計(A)	1,114	844	1,270	1,037	1,037	426				
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1					
							延べ業務事務時間	20	20	20	20	20					
							人件費計(千円)(B)	67	67	68	67	67	1				
	最終予算額	1,302 千円		予算執行率	97.5%		トータルコスト(A+B)	1,181	911	1,338	1,104	1,104	427				

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	各コミュニティハウスともに適切に管理していただいているが、施設老朽化に伴う修繕箇所が年々増加してきている。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	上齋原文化センター経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06369	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	上齋原文化センター条例・同条例施行規則指定管理者の指		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	上齋原文化センター指定管理に伴う諸事務、設備の修繕実施 ○指定管理料支出 ○鏡野町指定管理施設事業継続補助金	従来から施設管理を受託し、十分な管理ノウハウを持つ地元団体の活力導入による施設利用活性化をはかるため、平成23年度から指定管理制度導入の準備を進め、平成23年12月議会において可決、平成24年度より指定管理体制へ移行した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ	イ 上齋原地区住民人口	人	見込	600	510	500	500	500
			実績	534	517	496		

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯にわたりテーマを持ち学習してもらう	ア 施設利用者	人	目標	4,500	2,000	2,000	2,100	2,100
			実績	5,155	1,085	1,312		
			達成率	114.6%	54.3%	65.6%		62.5%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 施設利用状況	ア 施設利用回数	回	目標	150	150	150	150	150
			実績	150	97	105		
			達成率	100.0%	64.7%	70.0%		70.0%
イ 施設稼働率	イ 施設稼働率	%	目標	24	24	24	24	24
			実績	24	7	11		
			達成率	98.3%	29.6%	45.8%		45.8%



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 06 社会教育費		目 03 社会教育施設費		予算上の事業名 上齋原文化センター経常管理費						事業番号 06369
	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	20,245	20,207	21,999	20,009	20,009	1,792	一般財源	20,245	20,207	21,349	20,009	20,009	1,142		
合計	20,245	20,207	21,999	20,009	20,009	1,792	合計(A)	20,245	20,207	21,349	20,009	20,009	1,142		
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1			
							延べ業務事務時間	47	53	53	53	53			
							人件費計(千円)(B)	157	178	181	178	178	4		
	最終予算額	21,999 千円		予算執行率	97.0%		トータルコスト(A+B)	20,402	20,385	21,530	20,187	20,187	1,146		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	コロナウイルスの影響もあり、利用者数は増加していない。燃料・電気代の高騰により経費が増加したため、鏡野町指定管理施設事業継続支援補助金を交付した。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	富教育歴史資料館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06371	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町歴史資料館条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営: 富公民館、教育歴史資料館、図書館の運営 ・管理: 施設安全維持のため定期保守点検(委託)の実施、経常管理費予算執行等の事務	富小学校の廃校に伴い、教育歴史資料館として整備。公民館が手狭なため事務所、図書館を移す。富中学校施設を改修し、富公民館2階で令和元年度に開館。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	540 534	550 545	550 528	550	550
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 快適な施設利用をしてもらう	ア 教育歴史資料館利用者	団体	目標 実績 達成率	100 78 78.0%	80 45 56.3%	80 80 100.0%	80	80 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 教育歴史資料館・図書館・子ども室の管理、活用推進	ア 教育歴史資料館利用者	人	目標 実績 達成率	100 78 78.0%	90 45 50.0%	80 80 100.0%	80	80 100.0%
イ	イ 図書利用者	人	目標 実績 達成率	300 337 112.3%	300 328 109.3%	320	320	

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		富教育歴史資料館経常管理費						
	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比	決算	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	前年比		
(千円)	実績	実績	実績	見込	見込		(千円)	実績	実績	実績	見込	見込			
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	49	60	75	60	60	15	一般財源	21	20	57	60	60	37		
合計	49	60	75	60	60	15	合計(A)	21	20	57	60	60	37		
財源名称	従事正職員人数							1	1	1	1	1			
	延べ業務事務時間							384	384	1,450	380	380	1,066		
	人件費計(千円)(B)							1,284	1,286	4,960	1,278	1,278	3,674		
	最終予算額		75 千円		予算執行率		76.0%		トータルコスト(A+B)		1,305	1,306	5,017	1,338	1,338

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
見直し余地がある	目標水準に達している	教育資料館の運営・展示を行っている。資料の維持をしていく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	生活改善センター経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06375	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町生活改善センター条例・鏡野町生活改善センター条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営・管理: 大地区に管理委託(地域コミュニティ施設として活用) 維持管理: 経常管理費の事務執行(生涯学習課)	興基分校の閉校に伴い、大地区住民の活性化施設として昭和56年に設置され、当初は公民館・大分館と位置付けられた。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込	550	550	550	550	550
			実績	534	543	528		
イ	イ		見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供	ア 年間利用回数	回	目標	60	50	50	50	50
			実績	51	18	20		
			達成率	85.0%	36.0%	40.0%		40.0%
イ	イ 年間利用者数	人	目標	600	200	200	200	200
			実績	691	219	250		
			達成率	115.2%	109.5%	125.0%		125.0%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 維持管理費等の支払い	ア 契約	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	イ 支払い事務(半期ごと)		目標	2	2	2	2	2
			実績	2	2	2		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 款 10 項 06 目 03						予算上の事業名						事業番号
	一般会計 教育費 社会教育費 社会教育施設費						生活改善センター経常管理費						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	
国庫支出金						国庫支出金							
県支出金						県支出金							
町債						町債							
その他特財	5	5	5	5	5	その他特財	3	3	2	5	5	-1	
一般財源	753	935	741	783	783	-194	一般財源	661	847	667	783	783	-180
合計	758	940	746	788	788	-194	合計(A)	664	850	669	788	788	-181
財源名称	生活改善センター使用料					従事正職員人数	1	1	1	1	1		
						延べ業務事務時間	48	48	48	48	48		
						人件費計(千円)(B)	160	161	164	161	161	3	
	最終予算額		746 千円	予算執行率	89.6%		トータルコスト(A+B)	824	1,011	833	949	949	-178

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	大地区における生涯学習活動・住民活動の拠点施設であるため今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	木工陶芸館経常管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06377	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	富ふるさと公園条例・富ふるさと公園規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・運営: 木工教室・陶芸教室の自主講座で活用 (それぞれの教室生が責任を持つ) ・維持管理: 修繕等の維持管理については、経常管理費の事務執行(富公民館)	富総合福祉センター設置に伴い、地域住民の福祉と生涯学習の一環として施設を設置

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込	550	550	550	550	550
イ	イ		実績	534	543	528		
			見込					
			実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する。	ア 年間利用回数	回	目標	60	50	50	60	60
			実績	53	53	53		
			達成率	88.3%	106.0%	106.0%		88.3%
イ 快適な施設利用をしてもらう	イ 年間利用者数	人	目標	300	200	200	200	200
			実績	218	180	180		
			達成率	72.7%	90.0%	90.0%		90.0%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 木工教室・陶芸教室の開催	ア 教室開催回数	回	目標	60	2	2	2	2
			実績	53	2			
			達成率	88.3%	100.0%	#VALUE!		#VALUE!
イ	イ 開館日数		目標	285	285	285	285	285
			実績	285	285			
			達成率	100.0%	100.0%	#VALUE!		#VALUE!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		予算上の事業名						事業番号	
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		木工陶芸館経常管理費							
								01	77							06377
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	286	275	275	301	301		一般財源	246	205	228	301	301	23			
合計	286	275	275	301	301		合計(A)	246	205	228	301	301	23			
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1				
							延べ業務事務時間	1	1	1	1	1				
							人件費計(千円)(B)	3	3	3	3	3	0			
	最終予算額		275 千円		予算執行率	82.9%		トータルコスト(A+B)	249	208	231	304	304	23		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
見直し余地がある	向上余地がある	木工教室、陶芸教室の自主運営を行い生涯学習活動の拠点施設として今後も維持していく必要がある。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	木工陶芸館臨時管理費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06378	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	岩谷理恵子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	外壁の改修、引き戸の改修	老朽化による施設の改修が必要となったため

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 地区住民	ア 地区住民人口	人	見込 実績	550 534	550 543	550 528	550	550
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 生涯学習に参加できる場所を提供する	ア 年間利用回数	回	目標 実績 達成率	60 53 88.3%	50 53 106.0%	50 53 106.0%	60	60 88.3%
イ 快適な施設利用をしてもらう	イ 年間利用者数	人	目標 実績 達成率	300 218 72.7%	200 180 90.0%	200 180 90.0%	200	200 90.0%

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 委託契約	ア 契約件数	件	目標 実績 達成率			2 2 100.0%	2	2 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率			#VALUE!		#VALUE!

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計		款 10 教育費		項 06 社会教育費		目 03 社会教育施設費		予算上の事業名 木工陶芸館臨時管理費						事業番号 06378
	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源			1,452			1,452	一般財源			1,452			1,452		
合計			1,452			1,452	合計(A)			1,452			1,452		
財源名称							従事正職員人数			1			1		
							延べ業務事務時間			1,450			1,450		
							人件費計(千円)(B)			4,960			4,960		
	最終予算額	1,452 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)					6,412			6,412		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	木工教室、陶芸教室の自主運営を行い生涯学習活動の拠点施設として今後も維持可能となった。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	図書館図書購入費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06392	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福島 久美子
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町立図書館条例及び同条例施行規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	種類、数において個人では入手できない規模の資料を収集し、長年にわたり広く共同利用できるように整備する。図書及び視聴覚資料はあらゆる分野から選定するとともに、利用者からの要望も加味し購入する。新聞・雑誌は予め選定したものを随時納品後に利用者へ供する。	平成15年3月、鏡野町立図書館開館に伴い開始

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町民	ア 町民人口	人	見込	12,143	11,970	11,800	11,627	11,455
			実績	12,625	12,497	12,358		
イ 近隣市町村住民	イ エリア内住民人口	万人	見込	13	13	13	13	13
			実績	13	13			
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 多くの人に本を読んでもらう	ア 年間個人貸出冊数	冊	目標	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000
			実績	108,529	119,246	87,527		
			達成率	77.5%	85.2%	62.5%		62.5%
イ 生涯学習を支援する	イ 年間来館者数	人	目標	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
			実績	47,668	44,965	30,981		
			達成率	59.6%	56.2%	38.7%		38.7%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 図書の選定・発注	ア 図書の選定・発注回数	回	目標	60	60	60	60	60
			実績	55	56	57		
			達成率	91.7%	93.3%	95.0%		95.0%
イ			目標					
			実績					
			達成率					
ウ			目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町民	ア 生涯にわたって学習するテーマをもち、学習してもらう
イ	イ
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 03		大 51		中 13		予算上の事業名		事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育施設費		図書		図書購入費		図書館図書購入費		
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財	6,030	5,977	5,099	5,944	5,944	-878	その他特財	6,030	5,000	4,996	5,944	5,944	-4		
一般財源	425	486	1,100	428	428	614	一般財源	379	1,395	1,036	428	428	-359		
合計	6,455	6,463	6,199	6,372	6,372	-264	合計(A)	6,409	6,395	6,032	6,372	6,372	-363		
財源名称	地域振興基金利子						従事正職員人数	4	4	4	4	4			
	図書館費雑入						延べ業務事務時間	235	235	235	235	235			
							人件費計(千円)(B)	786	787	804	790	790	17		
	最終予算額		6,199 千円		予算執行率		97.3%		トータルコスト(A+B)		7,195	7,182	6,836	7,162	7,162

1枚目

事業番号	06392	事務事業名	図書館図書購入費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年)、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律(読書バリアフリー法)(令和元年)に基づいて、岡山県立図書館や地域・学校と連携し読書活動の推進、環境の整備に取り組んでいる。第1回鏡野町子ども読書推進計画(令和2年)策定。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 個人利用者や団体利用者からの意見を参考に、利用率の高い内容のものを厳選して購入している。リクエストには、購入の他、他の図書館との相互貸借を利用して応じている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 学校等団体からの要望が増えている。授業での利用は希望が重なるため、複本も購入してほしいとの要望がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 利用者からの要望と利用分析を資料収集に反映しているため、個々の生涯学習活動の充実を図ることができる。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 他に類似施設がなく、個人では収集不可能な数の資料を共同利用できる状態にすることは、個人の経済的負担を抑えるとともに、情報収集の幅を広げることが可能となる。そのための環境整備関与は妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 常に利用者の意見・要望を取り入れ、追加・変更する。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 世の中の動きや、町民の関心のあるものの情報収集に努め、生涯学習の様々なテーマに沿った行事や展示を企画し、利用率が向上するよう努める。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 他に類似施設がないため、生涯学習意欲の低下に繋がる。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 新刊を早い段階で厳選し、利用者の要望に応えるためには、図書館職員の選定作業が妥当である。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 令和4年度、定期刊行物(新聞を3割、雑誌を1割)、利用状況からタイトル数の削減を実施した。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 削減の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 町民をはじめ、広く近隣住民にも無料開放しており、運用も公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	利用者の生涯学習意欲を常に援助するため、継続して蔵書の充実を図る。そのための分析と、業務に従事する職員的能力向上の機会を増やし、資料厳選に役立てる。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 公民館、学校や児童クラブなど施設(団体)との連携を図り、利用しやすい環境を整える。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
学校や園からの要望、一般利用者、図書館側からのサービスに関する情報発信手段を検討する。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	おかやま子ども応援事業費		所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
05940	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	33	青少年の健全育成	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	おかやま子ども応援事業として下記2分野に取り組んでいる ①学校支援地域本部・・・学校、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子育てをする体制を構築し、地域住民が学校を支援する(授業、環境整備、見守りボランティアなど) ②放課後子ども教室事業・・・すべての子供を対象に、地域の方々の参画を得て、放課後に学習や様々な体験・交流活動、スポーツ・文化活動等の機会(居場所)を提供する	平成22年度から国及び県の補助事業「放課後子どもプラン推進事業(平成23年度から「おかやま子ども応援事業」)として実施。 おかやま子ども応援事業のうち、学校支援地域本部事業を平成25年度より開始。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 小学校児童	ア 小学校児童数	人	見込	652	660	660	660	660
			実績	659	658	624		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 学校の教育活動を支援する	ア 学校支援地域本部事業参加校	校	目標	7	7	7	5	5
			実績	7	7	7		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		140.0%
イ 子どもの社会教育活動を支援する	イ 放課後子ども教室延べ参加者数	人	目標	315	250	250	280	280
			実績	315	195	336		
			達成率	100.0%	78.0%	134.4%		120.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア おかやま子ども応援事業補助金	ア 補助金交付決定回数	回	目標	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1		
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の未成年者・地域住民	ア 心豊かにたくましく育てもらう
イ	イ 健全な育成を図る
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		04	01	おかやま子ども応援事業費					05940
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金	373	240	220	220	220	-20	県支出金	373	240	220	220	220	-20			
町債							町債									
その他特財	50						その他特財	50								
一般財源	608	763	1,113	1,221	1,221	350	一般財源	308	529	674	1,221	1,221	145			
合計	1,031	1,003	1,333	1,441	1,441	330	合計(A)	731	769	894	1,441	1,441	125			
財源名称	おかやま子ども応援事業費補助金						従事正職員人数		2	2	2	2	2			
							延べ業務事務時間		200	200	200	200	200			
							人件費計(千円)(B)		669	670	684	672	672	14		
	最終予算額		1,333 千円		予算執行率		67.0%		トータルコスト(A+B)		1,400	1,439	1,578	2,113	2,113	139

1枚目

事業番号	05940	事務事業名	おかもや子ども応援事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	--------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
新型コロナウイルスの影響も緩和されてきており、活動が再開されてきている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
特になし
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
実際行っている学校サイドからは特に声は届いていない。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 子どもたちの経験値を上げていくという面で政策体系と結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 県事業である点から、町村が行うことは妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 現時点では見直す余地はない。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 学校の授業の進め方にもよるが、効果的な利用ができれば成果を向上させることができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 事業を継続して行うことが必要である。	
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 現時点では向上は見込めない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 現時点では削減はできない。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 事業の運営としてはコスト削減を行って実施しているためこれ以上は難しい。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 各学校において実施しているため公平・公正となっている。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	昨年よりも、てコロナウイルスの影響は少なくなり、かなり活動が再開できた。さらに効果的な活用ができるように検討が必要。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 現状維持で行いたい。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
特になし。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							

事業番号	事務事業名	成人式開催費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
05945	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	33 青少年の健全育成	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・毎年1月の成人の日の前の日曜日に、町内の新成人が中央公民館に一堂に会し、成人式を開催する ・OPコンサート、記念式典、記念写真、茶話会など ・企画立案、対象者・来賓案内、記念品手配、会場準備、式典進行	「大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます」という趣旨で1946年から埼玉県内の町において実施された「青年祭」をルーツとし、鏡野町においても同様に実施している。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	町内在住の新成人	→	ア	人	見込	100	100	100	100	100
					実績	108	86	249		
イ		→	イ		見込					
					実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	晴れの門出を町全体で祝う	→	ア	人	目標	100	100	100	100	100
					実績	103	78	160		
					達成率	103.0%	78.0%	160.0%		160.0%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	対象者、来賓案内	→	ア	通	目標	120	120	120	120	120
					実績	149	129	282		
					達成率	124.2%	107.5%	235.0%		235.0%
イ	オープニングコンサート等の企画立案	→	イ	回	目標	2	2	2	2	2
					実績	3	0	5		
					達成率	150.0%	0.0%	250.0%		250.0%
ウ	式典の開催、進行	→	ウ	回	目標	1	1	2	1	1
					実績	1	1	2		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		200.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の未成年者・地域住民	ア 心豊かにたくましく育ててもらおう
イ	イ 健全な育成を図る
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		大事業 中事業		予算上の事業名				事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		05	01	成人式開催費				
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	749	589	760	676	676	171	一般財源	462	415	752	676	676	337		
合計	749	589	760	676	676	171	合計(A)	462	415	752	676	676	337		
財源名称							従事正職員人数	15	15	15	15	15	15		
							延べ業務事務時間	200	200	400	200	200	200		
							人件費計(千円)(B)	669	670	1,368	672	672	698		
最終予算額 760 千円			予算執行率	98.9%		トータルコスト(A+B)	1,131	1,085	2,120	1,348	1,348	1,035			

1枚目

事業番号	05945	事務事業名	成人式開催費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	--------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、会場内での密集・密接を避けるために来賓者数の縮小、保護者の入室制限を設けた。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
新成人の数は例年よりも多く、また出席者も増加傾向であった。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
女性に関しては着付け等に時間を要する為、式典開始時間を遅くしてほしいとの意見が数件寄せられた。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	次代を担う人材が社会人として自覚する節目の行事であり、今後の住民のまちづくりに結びつく。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	成人式は町全体及び国全体の行事と認識されている。また、社会人としての認識を持って自己の将来づくり、鏡野町の町・地域づくりに取り組んでほしいとの意図もあり、町の行事として妥当と思われる一方で、開催時期や周知方法、式典内容等細かな要望等も多く、実行委員会を設立することも手法の一つではないかと思われる。
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	鏡野町に住所を有する新成人を対象にしているが、就職、就学等で町に住んでいなくても希望があれば参加可能である。
	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	成果を指数で表すのが困難である。 成人式実行委員会の設置は検討課題である。
効率性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	国民の行事となっており子ども・孫の晴れ姿を楽しみにしている親族・地域住民が多数いる。 また、社会人としての認識を持つ数少ない機会であり、廃止すると影響がある。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	対象の新成人の中から実行委員を募集し、企画段階から新成人が主体として参加することで晴れの舞台にふさわしく、記憶に残る催しができる可能性がある。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	式典の司会運営から記念写真等の撮影まで全て職員が行っており、最大限経費削減に努めている。これ以上削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	対象の新成人の中から実行委員を募り、参加させることで職員の業務時間が減る可能性はある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	対象者には漏れが無いように案内通知を出し、鏡野町に住所がない方へは広報誌及びHPで参加を呼び掛けている。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	成果指標での評価が難しいため、アンケートや聞き取り調査が必要である。長年の継続事業(行事)になっており、今後も継続していく必要がある。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 新成人が主体となり実行委員として活動することで自ら主体となって取り組み、成人の節目として思い入れの深い式典にすることができるのではないかと考えるが、進学、就職で他県、他町村に出る成人が多い中で実行委員ができるかどうか課題である。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
成人式実行委員会を組織する上での委員の選出(募集)方法、人数、時期、回数などが考えられる。																									

事業番号	事務事業名	かがみのっ子表彰事業費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
05965	政策名	3	創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	担当者・シート作成者	阪手 彩香
	施策名	33	青少年の健全育成	根拠法令等	かがみのっ子表彰に関する条例	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	①被表彰者の氏名・居住地区の抽出 ②担当区長の調査 ③被表彰者が居住する地区の区長に被受賞者がいることを通知 ④区長に賞の推薦依頼 ⑤選考委員会(被表彰者全員の賞を決める) ⑥表彰式(新型コロナウイルス感染症拡大予防ため各小学校訪問)	平成6年度からベスタロッチ賞表彰事業が開始される。翌年総合計画が策定され、「日本のベスタロッチタウン鏡野」のキャッチフレーズのもと、小中学生を対象に知・徳・体の調和の取れた人間形成や青少年健全育成事業に全町あげて取り組む。合併後は、かがみのっ子賞表彰事業として事業を継続する。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町内小学校6年生児童	ア 町内小学校6年生児童数	人	見込	116	120	100	94	94
			実績	113	124	97		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 児童の個性をのばす	ア 表彰式への参加人数	人	目標	64	60	97	90	90
			実績	110	120	93		
			達成率	171.9%	200.0%	95.9%		103.3%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 表彰式	ア 表彰式の回数	回	目標	1	1	7	5	5
			実績	7	7	7		
			達成率	700.0%	700.0%	100.0%		140.0%
イ 地域の人に子どもの成長を見守ってもらう	イ 推薦の取りまとめ数	件	目標	113	120	97	94	94
			実績	113	124	97		
			達成率	100.0%	103.3%	100.0%		103.2%
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の未成年者・地域住民	ア 心豊かにたくましく育てもらう
イ	イ 健全な育成を図る
ウ	ウ
エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		08	01	かがみのっ子表彰事業費					05965
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源	292	237	80	179	179	-157	一般財源	112	96	75	179	179	-21			
合計	292	237	80	179	179	-157	合計(A)	112	96	75	179	179	-21			
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1				
							延べ業務事務時間	350	330	330	330	330				
							人件費計(千円)(B)	1,170	1,106	1,129	1,109	1,109	23			
	最終予算額	80 千円		予算執行率	93.7%		トータルコスト(A+B)	1,282	1,202	1,204	1,288	1,288	2			

1枚目

事業番号	05965	事務事業名	かがみのっ子表彰事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
現在は地域からの推薦がなく、区長を介して学校や保護者に推薦してもらい賞を決定しているため、地域からの推薦という本来の趣旨に沿えない状態である。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全員が集まっての表彰式ではなく、各小学校(7校)に訪問し学校単位で表彰式を行った。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
推薦をお願いする区長が対象児童の把握ができない状態のため、平成22年度から児童の氏名を担当区長に知らせ、事業の周知を図っている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
対象児童の把握が難しい地区もあり、区長推薦の必要性について問われている。児童からは事業に対して好意的な意見も多い。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 対象児童へ行ったアンケートでは、表彰してもらって嬉しかった、励みになったなど好意的な意見が多く、子どもたちの自信とやる気を起こすきっかけとなっており、政策体系と結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 地域全体で子どもを見守り育てる事業であり、町の関与は妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 対象を広げると今以上に子どもの把握が難しくなる。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 各小学校を訪問し表彰式を行ったため、ほぼ全員が出席し賞状を渡すことができた。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がない <input type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 地域からの推薦がほとんどなく区長を介して学校や保護者に推薦を依頼しているのが現状であり、地域からの推薦という本来の趣旨にそえていない。
⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 コロナ禍以降も小学校へ訪問して表彰式を行えば出席率を維持できる。また、6年生以外の児童がかがみのっ子表彰事業について知る機会になる。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 需用費及び役員費は最低限で支出している。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 事務作業に労力と時間がかかっている。しかし、多くの個人情報等があり民間委託は難しい。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 町内の小学6年生全員を対象としており公平である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	<ul style="list-style-type: none"> ・多くが保護者からの推薦のため、地域からの推薦という事業本来の趣旨にそえていない。 ・区長による対象児童の把握が難しい場合がある。 ・今年度も小学校を訪問して表彰式を行ったため、ほぼ全員の対象児童が式に参加することができた。また、他学年の児童が事業を認識する機会となった。 																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 ・個人情報を守りながら事業告知と趣旨の周知徹底を行い、地域からの推薦を増やす。 ・表彰の方法を検討する。 ・事務作業の効率化・簡略化を行う。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
子どもと地域の大人との交流の場を増やすことで、地域の方に子どもの存在を知ってもらおう。																									

事業番号	事務事業名	子育て学習推進事業費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
05970	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	佐古 渉
	施策名	33 青少年の健全育成	根拠法令等	社会教育法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・各学校等へ実施希望調査。実施校、実施教室の確定。実施報告書の取りまとめ。講師謝金等の支払い	・子ども達の健やかな成長を支援するために、家庭や地域での子育てに関する知識及び理解を深めることを目的に開始。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 町内の保、幼、小中学校の生徒	ア 町内の保、幼、小中学校の生徒	人	見込		1,550	1,520	1,520	1,520
			実績	1,521	1,412	1,413		
イ	イ		見込					
			実績					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 啓発活動を行い、健やかな成長を支援する	ア 啓発できた生徒数	人	目標	94	400	400	400	400
			実績	0	462	435		
			達成率	0.0%	115.5%	108.8%		108.8%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 事業の実施計画書の提出依頼、取りまとめ	ア 講座の開催回数		目標	3	13	13	13	13
			実績	0	5	8		
			達成率	0.0%	38.5%	61.5%		61.5%
イ	イ		目標					
			実績					
			達成率					
ウ	ウ		目標					
			実績					
			達成率					



⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の未成年者・地域住民	ア 心豊かにたくましく育てもらう
イ	イ 健全な育成を図る
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		大 09	中 01	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費				子育て学習推進事業費					05970
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比			
国庫支出金							国庫支出金									
県支出金							県支出金									
町債							町債									
その他特財							その他特財									
一般財源		290	200	200	200	-90	一般財源		100	100	200	200				
合計		290	200	200	200	-90	合計(A)		100	100	200	200	0			
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1	1			
							延べ業務事務時間	6	28	28	28	28	28			
							人件費計(千円)(B)	20	94	96	94	94	2			
	最終予算額	200 千円	予算執行率	50.0%	トータルコスト(A+B)		20	194	196	294	294	2				

1枚目

事業番号	05970	事務事業名	子育て学習推進事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
新型コロナウイルスによる影響により、実施数が減っている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
特になし。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
子育て学習の一環として大変有意義であるという情報を先生から得ている。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 子育て学習の一環として町の政策体系と結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明 子育て学習の一環として町が実施するべきである。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明 現状のやり方で見直す余地はない。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 現状のやり方で目標水準に達している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明 継続した子育て学習を行うべきである。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明 現状のやり方で改善の余地はない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 講師への報償費のみの事業なので、削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 現状の職員の業務体制で問題ないため、削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 学校へ希望をとり、実施しているため公平である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	新型コロナウイルスの影響により、実施予定が結局実施できなかった学校が多数あった。今後はZOOM等を利用した研修も取り入れたり、少人数での開催も検討すべきである。																						
B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<p style="text-align: center;">今後の改革改善案</p> <p style="text-align: center;">特になし</p>																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
特になし																							

事業番号	事務事業名	青年団補助金	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
05988	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	福田 壮一郎
	施策名	33 青少年の健全育成	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・鏡野町青年団協議会に対して補助金を交付する ・補助金交付申請、補助金交付決定、請求、補助金交付、実績報告、補助金額の確定通知	平成17年の市町村合併で3町村にあった青年団(奥津、富、上齋原)を併せて、協議会を設立したことにより補助を開始した。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 鏡野町青年団協議会	ア 団員数	人	見込 実績			80 48	80	80
イ	イ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 活動を通じて若者同士の交流を図ってもらおう	ア イベント等での活動回数	回	目標 実績 達成率			1 1 100.0%	1	1 100.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア 補助金交付事務	ア 補助金交付件数		目標 実績 達成率	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1 0 0.0%	1	1 0.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	
属する施策の対象	属する施策の意図
ア 町内の未成年者・地域住民	ア 心豊かにたくましく育ってもらおう
イ	イ 健全な育成を図る
ウ	
エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		青年団補助金						
2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比	決算 (千円)	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 実績	5 年度 見込	6 年度 見込	前年比			
国庫支出金						国庫支出金									
県支出金						県支出金									
町 債						町 債									
その他特財						その他特財									
一般財源	250	250	250	200	200	一般財源				200	200				
合計	250	250	250	200	200	合計(A)				200	200	0			
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間									10	10				
	人件費計(千円)(B)									34	34	0			
	最終予算額	250 千円	予算執行率	0.0%	トータルコスト(A+B)					234	234	0			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	向上余地がある	協議会全体での活動は町子連と協力した活動のみであったが、町子連が休会となり、全体での活動はなく、各地域団体での活動が主体である。よって協議会全体での活動が今後望まれる。また、団員数の減少、実動団員の固定化や、会員の高年齢化が著しい。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がある	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	青少年健全育成協議会開催費	所管課名	生涯学習課	令和 4 年度課長名	小原 克則
06015	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名		担当者・シート作成者	阪手 彩香
	施策名	33 青少年の健全育成	根拠法令等	鏡野町青少年健全育成協議会条例		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・鏡野町での青少年健全育成活動の推進。推進委員による啓発活動。 ・総会、研修会の開催(令和3年度は書面開催)。開催通知、出欠取りまとめ、講師選定、依頼、資料作成業務。 ・町内の小中学生及び保育園、幼稚園の保護者から「明るい家庭づくり」をテーマにした作文募集。内容を審査し、優秀作品は県に応募する。応募者全員に記念品を贈る。	昭和45年度鏡野町での青少年健全育成推進協議会が設置された。 昭和45年家庭生活を振り返ることでそれぞれのかかわり、役割を認識し、子どもたちの健全な育成を願って始められた。

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	町内の保、幼、小、中学校の児童・生徒	→	ア	人	見込	1,424	1,400	1,413	1,400	1,400
					実績	1,415	1,412	1,409		
イ	活動推進員	→	イ	人	見込	29	29	29	29	29
					実績	29	29	29		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	家庭のあり方を再認識してもらう	→	ア	人	目標	800	800	700	650	650
					実績	766	667	605		
					達成率	95.8%	83.4%	86.4%		93.1%
イ	青少年健全育成活動を推進してもらう	→	イ	人	目標	29	29	29	29	29
					実績	29	29	29		
					達成率	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)		⑥活動指標		単位	区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
ア	総会・研修会の開催	→	ア	回	目標	2	2	2	2	2
					実績	1	1	2		
					達成率	50.0%	50.0%	100.0%		100.0%
イ	講演会の開催	→	イ	人	目標	20	20	20	29	29
					実績	0	0	23		
					達成率	0.0%	0.0%	115.0%		79.3%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)			
属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の未成年者・地域住民	ア	心豊かにたくましく育てもらう
イ		イ	健全な育成を図る
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 10		項 06		目 01		予算上の事業名						事業番号
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費		青少年健全育成協議会開催費						
							15	01							06015
予算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比	決算(千円)	2 年度実績	3 年度実績	4 年度実績	5 年度見込	6 年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	122	122	83	88	88	-39	一般財源	66	66	75	88	88	9		
合計	122	122	83	88	88	-39	合計(A)	66	66	75	88	88	9		
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1	1			
							延べ業務事務時間	50	50	50	50	50			
							人件費計(千円)(B)	167	168	171	168	168	4		
	最終予算額		83 千円		予算執行率	90.3%		トータルコスト(A+B)	233	234	246	256	256	13	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	・3年ぶりに総会・研修会を開催することができ、多くの活動推進員に参加してもらえた。 ・明るい家庭づくり作文について町内の小中学校に通う児童・生徒及び保育園・幼稚園の園児の保護者に周知している。また、応募者全員に参加賞を贈っており公平である。
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	
改善余地がない	公平・公正である	